

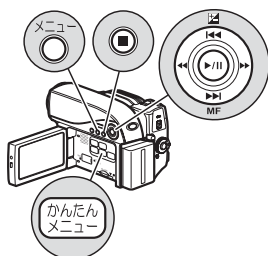
いろいろな撮影テクニック

メニュー操作について

「いろいろな撮影テクニック」のうち、多くの機能が、メニューを使います。メニュー操作の手順は、例えば以下のように記述されています。

1 [メニュー]を押す

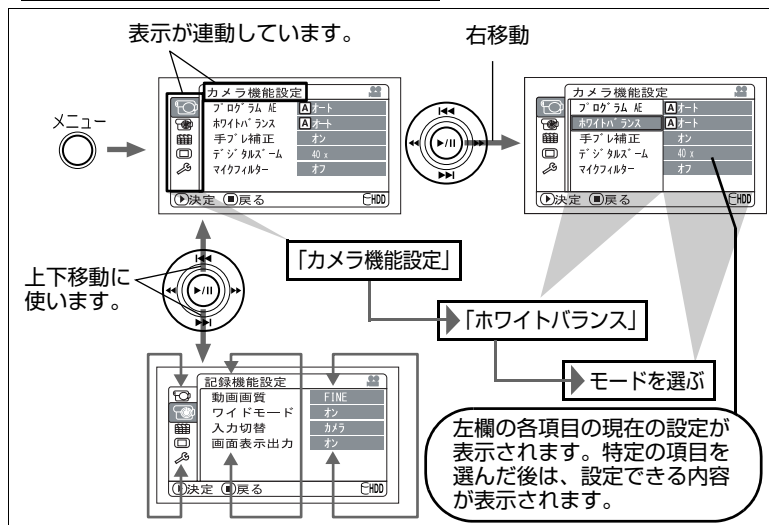
「かんたんメニュー」を押したときは、「かんたんメニュー」の画面が表示されます。操作方法は「メニュー」を押したときと同じです。



2

「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」

▶モードを選ぶ



3

▶/IIを押し、[メニュー]で終了

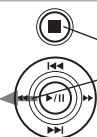


メニュー

※変更をやめるときは、▶/IIを押す前に、[メニュー]を押します。

1つ前の画面に戻るとき

左方向に戻るとき



ほぼ同様に働きます。

メニュー（撮影時、初期設定）

動画メニュー

メニュー項目 (1 階層め)	メニュー項目 (2 階層め)	かんたん メニューの 表示項目	動画／静止画 共通の項目	参照先
カメラ機能設定 (DZ-HS903 で外部入力 のときは、表示されません。)	プログラム AE		●	P.63
	ホワイトバランス		●	P.64
	手ブレ補正* ¹			P.66
	デジタルズーム			P.59
	マイクフィルター* ¹			P.67
記録機能設定	動画画質* ¹	●		P.70
	ワイドモード* ²	●		P.70
	入力切替 (DZ-HS903)	●		P.72
	画面表示出力* ³		●	P.108
液晶設定	液晶調節		●	P.57
日付機能設定	日付設定	●	●	P.22
	表示モード		●	P.58
初期設定	操作音		●	P.57
	パワーセーブ		●	P.57
	録画ランプ		●	P.69
	言語切替	●	●	P.57
	デモモード	●	●	P.58
	設定リセット	●	●	P.57

静止画メニュー

メニュー項目 (1 階層め)	メニュー項目 (2 階層め)	かんたん メニューの 表示項目	動画／静止画 共通の項目	参照先
カメラ機能設定 (DZ-HS903 で外部入力 のときは、表示されません。)	プログラム AE		●	P.63
	ホワイトバランス		●	P.64
	デジタルズーム			P.59
	フラッシュ* ⁴			P.68
記録機能設定	静止画画質* ²	●		P.72
	入力切替 (DZ-HS903)	●		P.72
	静止画外部入力* ⁵ (DZ-HS903)			P.73
	セルフタイマー	●		P.73
	画面表示出力* ³		●	P.108

液晶設定	液晶調節		●	P.57
日付機能設定	日付設定	●	●	P.22
	表示モード		●	P.58
初期設定	操作音		●	P.57
	パワーセーブ		●	P.57
	録画ランプ		●	P.69
	言語切替	●	●	P.57
	デモモード	●	●	P.58
	設定リセット	●	●	P.57

- *1 HDD/DVD をご使用のときに表示されます。
- *2 カードをご使用のとき、または外部入力の場合は表示されません。
- *3 外部入力の場合は表示されません。
- *4 カードをご使用のときに表示されます。
- *5 カードをご使用のときで外部入力の場合にのみ表示されます。

■ 液晶設定と初期設定について

	メニュー項目		機能説明	初期値
液晶設定	液晶調節	色のこさ	液晶モニターの色のこさを調節します。	—
	操作音		オンにすると操作音が鳴り、オフにすると操作音が鳴らなくなります。	オン
初期設定	パワーセーブ		オンのときは、録画一時停止で約 5 分間何も操作をしないと自動的に電源が切れます。 オフのときは手動でのみ電源が切れます。	オフ
	録画ランプ		P.69	オン
	言語切替		日本語／英語を切り替えます。	日本語
	デモモード		P.58	オート
	設定リセット		メニューを初期状態に戻します。	—

日時の設定について

手順は、「日時を設定・確認する（お買い上げ時や久しぶりに使う場合）」（P.22）をご覧ください。

ご注意

本機は日付と時刻を記憶しておくための充電式電池を内蔵しています。内蔵電池がなくなると、日付がリセットされてしまいます。6ヶ月に 1 回、本機をコンセントにつなぐか、充電したバッテリーパックを本機に取り付け、24 時間電源を切った状態でおいてください。内蔵電池が充電されます。

年／月／日の表示順序を入れ替えるには

「月／日／年」や「日／月／年」の表示順にすることもできます。（「日／月／年」を選ぶと、時刻表示は 24 時間制になります。）

- ① [メニュー] を押す
- ② 「日付機能設定」▶「表示モード」▶ 年月日の表示順序を選ぶ
- ③ [▶/II] を押し、[メニュー] で終了

■ デモンストレーション機能について

お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

AC アダプター／チャージャーにつないで、本機の電源を入れ、メディアの選択が「HDD」の場合、約 10 分間何も操作しないと、自動的にデモンストレーションが始まります。

また、AC アダプター／チャージャーにつないで、記録メディア（DVD、SD メモリーカード）が入っていない場合も、約 10 分間何も操作しないと、自動的にデモンストレーションが始まります。

- デモンストレーションをキャンセルするには、どれかボタンを押してください。

デモンストレーション機能をオフにしたいとき、すぐ見たいとき

- ① [メニュー] を押す
- ② 「初期設定」▶「デモモード」

以下より設定を選ぶ

オート：上記

オフ：デモンストレーション機能をオフにします。

スタート：すぐにデモンストレーションが始まります。デモンストレーションをキャンセルすると、元の設定（オートまたはオフ）に戻ります。

- ③ [▶/II] を押す

ご注意

- バッテリーパックをお使いのときに「オート」に設定してもデモンストレーションは始まりません。
- パソコンと接続しているときは、デモンストレーション機能は動きません。

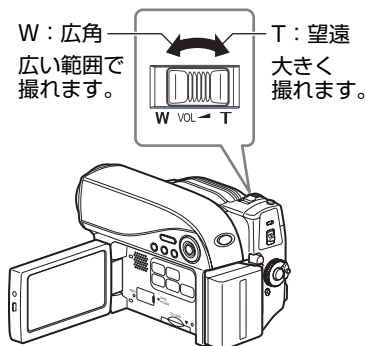
HDD・RAM・RW(VR)・RW(VF)・R・+RW カード

大きく撮る (光学ズームとデジタルズーム)

ズームレバーは倒す方向により以下のように働き、倒し続けるとそれぞれの最大値まで動きます。

ズームレバーを少し倒すとゆっくりズームし、大きく倒すと速くズームします。

光学 10 倍が望遠の最大です。「デジタルズーム」を設定すると、望遠の最大が 240 倍になります。



ズームの最大値は、メニューの「デジタルズーム」の設定により、以下のようになります。

デジタルズームの設定

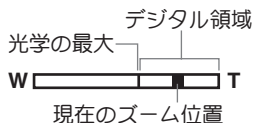
オフ

ズームを使うと、液晶画面に光学ズームバーが表示されます。



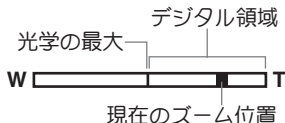
40 ×

光学 10 倍を超えると自動的にデジタルズームになり、望遠の最大が 40 倍になります。ズームバーは、次のようになります。



240 ×

望遠の最大が 240 倍になります。ズームバーは、次のようになります。



「デジタルズーム」を設定をする

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「デジタルズーム」▶ デジタルズームの設定を選ぶ

3 ▶/II] で決定後、[メニュー] で終了
・ デジタルズームの設定は、電源を切っても記憶されています。



リモコンの [デジタルズーム] を押ししても切り替えることができます。

ボタンを押すたびに、以下のよう切り替わります。

「オフ」→「40 ×」→「240 ×」

(カード使用時は「オフ」↔「40 ×」)

ご注意

- ・ カード使用時は、240 倍の設定をしても最大 40 倍までのデジタルズームになります。
- ・ ズーム操作をしたときに、一瞬ピントがずれることがあります。
- ・ デジタルズームが加わると、画質が粗くなります。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (+RW) カード

至近距離からの撮影 (接写)

小さい被写体を至近距離から撮影するときは、レンズ面に約 2 cm まで近づいて、画面いっぱいに拡大して撮影できます。

接写のしかた

1

被写体に本機を向け、ズームレバーを W (広角) 側いっぱいにする

- 接写をするときは光量不足になりがちです。画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。

ご注意

ズームは使用できますが、被写体までの距離により、ピントが合わなくなることがあります。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (+RW) カード

別売のレンズで、より広角に、より望遠で撮影する

テレコンバージョンレンズ
DZ-TL1 (別売) を使うとより望遠に、
ワイドコンバージョンレンズ
DZ-WL1 (別売) を使うとより広角に、
撮影できます。

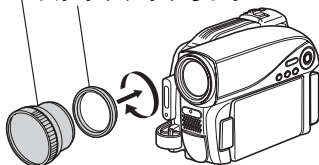
別売のテレコンバージョンレンズ (DZ-TL1) やワイドコンバージョンレンズ (DZ-WL1) を装着するときは、別売のステップアップリング (DZ-SR3037) をお使いください。

別売のレンズの取り付けかた

コンバージョンレンズのレンズ
キャップを外し、ステップアップリ
ングのネジを取り付ける

コンバージョンレンズ
ステップアップリング

1



ご注意

- DZ-TL1 を装着した場合は、T 端 (望遠側) のピントの合う範囲が約 5m から無限遠の範囲になります。
- コンバージョンレンズを装着した場合は、ズームしたときに W 側 (広角側) で画面の四隅が暗くなったり、欠けたりする場合があります。(四隅の暗さは均一ではない場合があります。)
- レンズを交換する際に、本機が落下しないようご注意ください。
- コンバージョンレンズを装着すると、フラッシュは使用できなくなります。「フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください (P.68)。
- 市販のコンバージョンレンズは、フィルター径 30.5mm ネジピッチ 0.5mm のものをお使いいただけます。(形状によっては使用できないものもあります。)

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (RW) カード

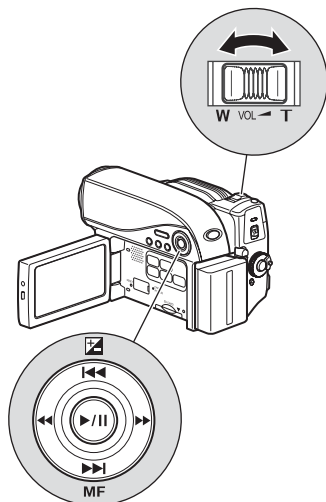
ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス)

本機のピントは自動で合いますが (オートフォーカス)、「オートフォーカスでピントが合いにくい状況」(P.62) のときは、手動でピント合わせをしてください (マニュアルフォーカス)。

ピントの合う範囲

- T (望遠) 側: レンズ面より約 1m から無限遠
- W (広角) 側: レンズ側より約 2cm から無限遠

マニュアルフォーカスのしかた



録画中、または録画一時停止中に
[**MF**] を押す

液晶画面にフォーカスアイコンが表示されます。

1



マニュアルフォーカスアイコン

- もう一度 [**MF**] を押すと、オートフォーカスに戻ります。アイコンはマニュアルフォーカス時のみ表示されます。

2

ズームレバーを T (望遠) 側に動かして被写体を大きく写す

3

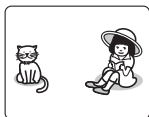
[**MF**] / [**MF**] でピントを調整する

- 電源を切ると、オートフォーカスに戻ります。
- 手動でピントを合わせるときは、手順 2 で行ったように、必ず被写体を大きく写してください。
W (広角) 側のほうでピントを合わせると、T 側にしたときにピントがずれることがあります。



マニュアルフォーカスでピントを調整中に露出を調整できます。このとき、液晶画面に露出バーが表示され、[**MF**] を押すと、マニュアルフォーカスに戻ります。

オートフォーカスでピントが合にくい状況



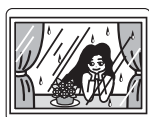
中央に被写体がない



遠くと近くの両方に被写体がある



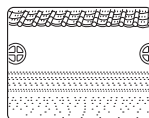
ネオンサインやスポットライトなど、輝いたり、強い光が反射する被写体



水滴や汚れの付いたガラス越しの被写体



動きの速い被写体



白い壁など明暗差がほとんど無い被写体



暗い被写体



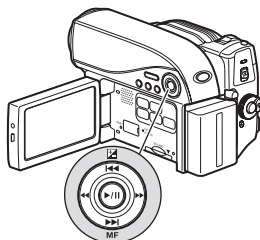
夜景

HDD (RAM) (RW) (VR) (RW) (VF) (R) (+RW) カード

撮影画像の明るさを調整する (露出)

通常は、自動で露出を調整するようになっています。撮影状況に応じて、手動で露出を調整することもできます。

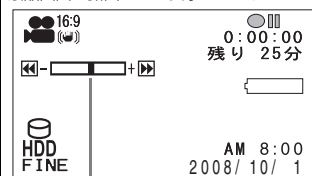
手動露出調整のしかた



録画時、または録画一時停止中に

[◀▶ (M)] を押す

液晶画面に露出バーが表示されます。



露出バー

- もう一度 **[◀▶]** を押すと、自動調整に戻ります。手動調整時のみバーが表示されます。

2

[◀◀] / [▶▶] で露出を調整する

- 電源を切ると、露出は自動調整に戻ります。

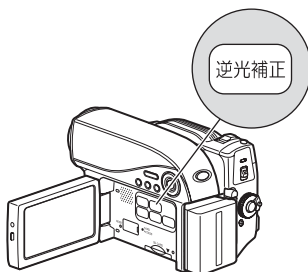


露出を調整中に **[▶▶]** を押すと、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。このとき、液晶画面にマニュアルフォーカスアイコンが表示され、**[◀▶]** を押すと、露出調整に戻ります。

HDD (RAM +RW(VR) +RW(VF) R +RW カード)

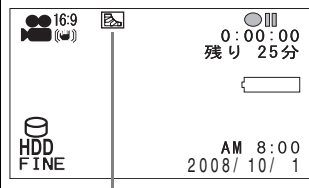
逆光を補正する(逆光補正)

逆光のとき、被写体が暗くならないように補正できます。

逆光補正のしかた

撮影時に、[逆光補正]を押す

液晶画面に逆光補正アイコンが表示されます。

**逆光補正アイコン**

- [逆光補正]を押すたびに、オンとオフが切り替わります。オンのときのみ、逆光補正アイコンが表示されます。
- 逆光補正の設定は、電源を切るとオフに戻ります。

HDD (RAM +RW(VR) +RW(VF) R +RW カード)

状況に合った撮影モードを選ぶ(プログラムAE)

本機は被写体と周囲の状況を自動で判断し、最適な映像を撮影しますが(オート時)、状況に応じて撮影モードを選べば、より意図した撮影ができます。

撮影モード**A オート**

被写体と周囲の状況が自動で判断され、最適な映像が撮影されます。

スポーツ

ゴルフやテニスなど激しい動きを撮影するときに、被写体のブレを少なくします。

ポートレート

人物や生物などを撮影するときに、背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。

スポットライト

結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

サーフ&スノー

真夏の海辺やスキー場など、照り返しの強い場所で人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

ローライト

暗いところで少ない明かりで撮影できるモードです。

撮影モードの選びかた

1 [メニュー]を押す

2 「カメラ機能設定」▶「プログラム AE」
▶ 撮影モードを選ぶ

3 ▶/II で決定後、[メニュー]で終了
選んだ撮影モード（オート以外）が液晶画面に表示されます（P.40）。
• 撮影モードは、電源を切っても記憶されています。

ご注意

- 暗いところで撮影するとき、動きがある被写体や手振れがある場合では、残像が出ます（本機を三脚などで固定することをおすすめします）。
- 蛍光灯などの下でスポーツモードを使用すると、画面がちらつくことがあります。その場合は、オートモードで撮影してください。

HDD (RAM) (RW/VR) (RW/VR) (R) (RW) カード

色合いを調整する (ホワイトバランス)

被写体を撮影するときには、光が必要になります。人間の目は、見たまま色を認識することができますが、カメラで撮影するときは、目で見ているよりも被写体が赤くなったり、青く写ることがあります。白いものを白く撮るために、ホワイトバランスを調節します。通常は自動で色の調整をします（オート時）。
撮影状況に応じて、ホワイトバランスの設定を変えてください。

ホワイト バランスモード

オート（表示なし）

■ セット

日没、日の出を撮影する場合、日陰で撮影する場合、スポットライトで照らされている舞台などを撮影する場合など、光源や状況に合わせて、手で設定できます。

☀ 屋外

晴天下での撮影のときに合わせます。

☀ 屋内

白熱灯やハロゲンランプ、電球色系蛍光灯などのもとの撮影のときに合わせます。

☀ 蛍光灯

蛍光灯のもとの撮影のときに合わせます。

ホワイト バランスのモードの 選びかた

1 [メニュー]を押す

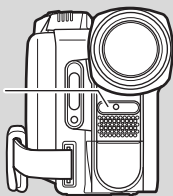
2 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶ ホワイトバランスのモードを選ぶ

3 ▶/II で決定後、[メニュー]で終了
選んだホワイトバランスのモード（オート以外）が画面に表示されます（P.40）。
• ホワイトバランスのモードは、電源を切っても記憶されています。

ご注意

- 良い色あいで撮影するために、赤外線センサーの前を手などでふさがないでください。

赤外線センサー



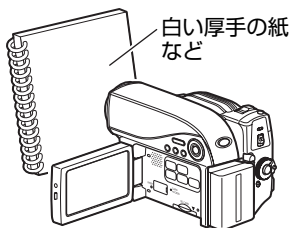
- テレコンバージョンレンズまたはワイドコンバージョンレンズをご使用の場合、撮影状況によってはホワイトバランスが動作しないことがあります。その場合は、撮影状況にあったモードに設定するか、手動でセットしてください。
- レンズキャップをつけたまま電源を入れると、ホワイトバランスが正しく働きません。必ず、レンズキャップを外してから電源を入れてください。

■ ホワイトバランスを手動で設定する(セット)

裏が透けない、白い厚手の紙などをご用意ください。

画面いっぱいに、白い被写体を映す

1



2 [メニュー] を押す

3 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶「セット」

4 [P/II] を押す
液晶画面に、「■」が点滅します。

5 再度 [P/II] を押し、そのままはなさず押し続ける
しばらくすると、点滅している「■」が点灯にかわり、ホワイトバランスの設定が完了します。
[P/II] をはなしてください。

6

終了する場合は[■]を、やり直す場合は再度手順5を行う

- 「セット」に設定されたホワイトバランスは、次に設定し直すまで記憶されています。
- 色合いを正確に合わせるため、撮影条件が変わるたびに「セット」を設定し直してください。
注意をうながすため、ホワイトバランスのモードを「セット」にしたまま電源を切ると、次に電源を入れたときに液晶画面に「■」が点滅します。前回の設定は記憶されているので、必要に応じて設定し直してください。

ご注意

- 暗い場所ではうまく設定できないことがあります。またズームバーがデジタル領域(P.59)にあるときは、ホワイトバランスの「セット」の設定ができません。
ホワイトバランスの設定ができないときは、「■」が点滅したままになります。ズームを光学領域に戻し、明るい場所で設定し直してください。
- 「セット」の設定が完了しないまま、時間が経って録画一時停止に戻った場合は、液晶画面に「■」が点滅しています。もう一度手順1からやり直してください。
- 入力切替設定が「外部」の場合は、ホワイトバランスの「セット」が設定できません。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (RW)

ブレを少なくして撮る
(手ブレ補正)

ズームで被写体を大きくして撮ると映像がぶれやすくなりますが、手ブレ補正機能がオンになっていると自動補正されてぶれにくくなります。

本機を台の上に置いたり、三脚を使用する場合は、手ブレ補正機能をオフにして撮影することをおすすめします。

手ブレ補正をオン、オフする

1 [メニュー]を押す

2 「カメラ機能設定」▶「手ブレ補正」
▶「オン」/「オフ」

3 ▶/IIで決定後、[メニュー]で終了
「オン」にすると、液晶画面に「(■)」が表示されます(P.40)。
• 手ブレ補正の設定は、電源を切っても記憶されています。
• 「オフ」にした場合、いつも「オフ」で撮影するのでなければ、撮影後は「オン」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

ご注意

- 手ブレ補正が働いていると実際の動きと画面の動きに若干の差が生じます。
- 手ブレ補正が「オン」になっていても、手ブレが大きすぎると補正されないことがあります。脇をしめ、本機を両手で支えて撮影することをおすすめします。
- テレコンバージョンレンズやワイドコンバージョンレンズを使用しているときは手ブレ補正が正しく動作しないことがあります。
- カード使用時は手ブレ補正を設定できません。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (RW)

風の音を低減させて撮る (マイクフィルター)

「マイクフィルター」を「オン」にすると、本機の内蔵マイクで録音すると共に、風の音を低減させることができます。撮影時にマイクに入る音のうち、低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

マイクフィルターをオン、オフする

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「マイクフィルター」▶「オン」/「オフ」

3 [▶/II] で決定後、[メニュー] で終了「オン」にすると、液晶画面に「」が表示されます (P.40)。

- ・マイクフィルターの設定は、電源を切っても記憶されています。
- ・「オン」にした場合、いつも「オン」で撮影するのでなければ、撮影後は「オフ」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

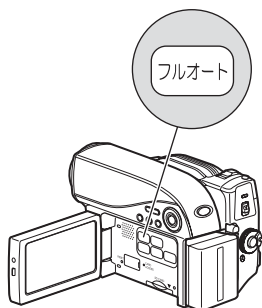
HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (RW) カード

カメラの撮影設定をすべて 初期値に戻す (フルオート)

手動調整した以下の撮影設定を、ボタン1つで初期値に戻せます。

機 能	初期値	参照先
フォーカス	オート	P.61
露出	オート	P.62
逆光補正	オフ	P.63
プログラム AE	オート	P.63
ホワイトバランス	オート	P.64
手ブレ補正	オン	P.66
マイクフィルター	オフ	P.67

撮影設定をフルオートにする



1 撮影時に、[フルオート] を押す
液晶画面に「フルオート」と数秒間表示され、設定が初期値に戻ります。

カード

フラッシュを使う

薄暗いところで静止画撮影をする場合、シャッタースピードが遅くなるので手ブレが生じやすくなります。フラッシュの使用をおすすめします。

通常、フラッシュは状況に応じて自動的に発光しますが（オート時）、状況に応じて強制発光（オン）や発光禁止（オフ）にすることもできます。

フラッシュモード

オート

フラッシュが必要かどうか、本機が自動的に判断をします。

フラッシュが発光するときは、[フォト / 選択] を半押しすると液晶画面に「」が表示され、全押しでフラッシュが発光します。

オン

常時液晶画面に「」が表示され、全押しすると常にフラッシュがたかれます。

オフ

常時液晶画面に、「」が表示され、発光しません。

フラッシュモードの選びかた

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「フラッシュ」
▶ フラッシュのモードを選ぶ

- 3** ▶[II] で決定後、[メニュー] で終了
- 液晶画面内のフラッシュのアイコン位置 (P.40)
 - フラッシュの設定は、電源を切っても記憶されています。
 - いつも決まった設定で撮影するのであれば、「オン」あるいは「オフ」での撮影後は、「オート」に戻してから電源を切ることをおすすめします。



- フラッシュを使用しても、薄暗いところではピントが合わないことがあります。暗いところでの撮影では、ライトで被写体に光を当てることをおすすめします。
- フラッシュ充電中は、「」が点滅します。「」点滅中は、撮影しても発光しません。
- 静止画を接写するときは、「フラッシュ」の設定を「オフ」にしてください。被写体が近すぎると白とびするおそれがあります。

ご注意

- コンバージョンレンズを装着しているときには、フラッシュを使用できません。「フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください。
- フラッシュの使用可能範囲（めやす）は被写体によって異なりますが、暗いところで約 1m～2.5m 程度です。
- フラッシュは、発光時に自動的に光量を調整しますが、被写体までの距離が遠いときや近いときには、光量調整が十分にできないことがあります。
- 逆光時など明るい場所では、フラッシュ効果が得られにくいことがあります。

- フラッシュを使って連続して撮影すると、フラッシュが発光しなかったり、光量の調整ができないことがあります。フラッシュを使って撮影したあとは、しばらくたってから再び[フォト/選択]を押して撮影することをおすすめします。
- フラッシュを人の目の前に近づけて使用しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときには1m以上離れてください。
- 乗り物の運転者に向けてフラッシュを使用しないでください。運転者に向けてフラッシュを使用すると目がくらみ事故を起こす原因になります。
- 可燃性、爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しないでください。引火、爆発の原因になります。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (RW) カード

レンズ下にある録画ランプを消す

レンズ下にある録画ランプを消す(オフにする)ことができます。

録画ランプは、録画中であることをお知らせするため、赤く点灯しますが(オン時)、ガラス越しや水槽などの撮影で赤いランプの反射を防ぐには「オフ」にしてください。

録画ランプのオン、オフのしかた

1 [メニュー]を押す

2 「初期設定」▶「録画ランプ」
▶「オン」/「オフ」

3 ▶/[H]で決定後、[メニュー]で終了

- 録画ランプの設定は、画面情報には表示されません。
- 録画ランプをオフにしている場合、セルフタイマー(P.73)中は点灯します。

HDD (RAM +RW(VR)) +RW(VF) R +RW

動画画質を切り替える

動画の記録画質を切り替えて、より高画質で録画したり、画質を抑えてより長い時間録画したりできます。

HDD の動画画質と録画可能時間 (DZ-HS903)

動画画質	説明	録画可能時間
XTRA*	高画質	約 7 時間
FINE	標準画質	約 11 時間
STD	長時間	約 23 時間

(DZ-HS803)

動画画質	説明	録画可能時間
XTRA*	高画質	約 1 時間 50 分
FINE	標準画質	約 3 時間
STD	長時間	約 6 時間

DVD の動画画質と録画可能時間

ディスク 1 枚 (片面) の記録時間

動画画質	説明	録画可能時間
XTRA*	高画質	約 18 分
FINE	標準画質	約 30 分
STD	長時間	約 60 分

* 高温の環境では、FINE 相当の画質になることがあります。

動画画質の切り替えかた

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「動画画質」
▶ 動画画質を選ぶ

3 [▶/II] で決定後、[メニュー] で終了
設定した動画画質が液晶画面に表示されます (P.40)。
• 動画画質の設定は、電源を切っても記憶されています。

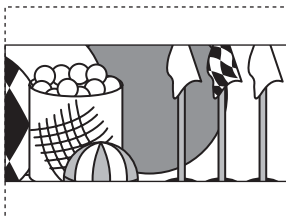
HDD (RAM +RW(VR)) +RW(VF) R +RW

ワイドテレビに対応した映像を撮る (ワイドモード)

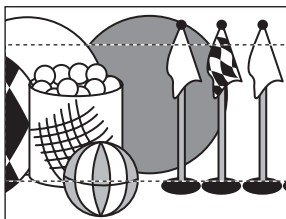
ワイドテレビ (画面比率 16:9) でご覧になるときは、ワイドモードを「オン」にすると、画面比率を変えて撮影することができます (「オフ」時の画面比率は 4:3)。

液晶モニターに映し出される映像をワイドモード「オン」のときと「オフ」のときで比較すると下図のようになります。

ワイドモード「オン」
(画面比率 16:9)



ワイドモード「オフ」
(画面比率 4:3)



ワイド モード のオンのしかた

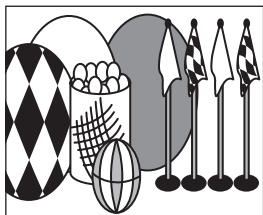
1 [メニュー]を押す

2 「記録機能設定」▶「ワイドモード」 ▶「オン」／「オフ」

▶[II]で決定後、[メニュー]で終了

- ワイドモードの設定は、電源を切っても記憶されています。
- ワイドテレビ以外のテレビでご覧になる場合は、ワイドモード「オフ」で撮影してください。「オン」で撮影すると、映像が縦長に記録されます。

3



- 「オフ」で撮影した映像は、液晶モニターの両端に黒い帯が表示されます。

ご注意

- 入力切替が「外部」の場合、ワイドモードの設定値にかかわらず、ワイドモード「オフ」の状態で記録されます。
- DVD-RW (VF モード) / DVD-R / +RW をお使いの場合、動画画質「STD」とワイドモード「オン」を組み合わせ設定することはできません。ワイドモード「オン」のときに、動画画質を「XTRA」もしくは「FINE」から、「STD」に変更しようとすると、自動的に画面が4:3表示(ワイドモード「オフ」)に切り替わります。

ご注意

- DVD-RW (VF モード) / DVD-R を使ってワイドモード「オン」で記録した後は、外部入力に切り替えてできません。
- DVD-RW (VF モード) / DVD-R をお使いのときは、DVD の途中でワイドモード / ノーマルモードの設定は切り替えられません。
- ワイドモード「オン」で撮影した映像は、ワイドモード設定にかかわらず記録したモードで再生されます。
- ID-1 / ID-2* には対応していません。
* 画面の縦横比 (16:9、4:3) をビデオ信号のすきまに記録するシステムです。
- S1 または S2 入力端子に接続した場合は、自動的にテレビがワイドモードに切り替わります。詳しくはご使用のテレビの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオセクターをご使用の場合、自動的にテレビがワイドモードに切り替わらないことがあります。
- 静止画を撮影するときは、ワイドモードの設定にかかわらず、画面比率 4:3 の表示になります。
- ワイドモードで撮影した DVD の入った本機を、4:3 表示のみ対応のテレビに接続して再生すると、縦長の映像が表示されます。このような場合には、TV 接続設定 (P.108) を「4:3」に設定して映像をご覧ください。
- ワイドモードで撮影した +RW を DVD プレーヤーなどで再生すると、ワイドテレビでも縦長の映像で表示される場合があります。このような場合には、DVD プレーヤー側の設定を変えるか、TV 接続設定 (P.108) を「4:3」に設定して映像をご覧ください。

静止画の画質を切り替える (静止画画質)

静止画の記録画質を切り替えることができます。

大切な画像は「FINE」で撮影することをおすすめします。

(「静止画のサイズと画質について」(P.188))

静止画画質の切り替えかた

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「静止画画質」
▶ 静止画画質を選ぶ

3 ▶/II] で決定後、[メニュー] で終了
・ 静止画画質の設定は、電源を切っても記憶されています。

他の機器から映像を入力する (入力切替) (DZ-HS903)

他の機器からの映像を本機に入力するときは、本機の設定を切り替えます。

他の機器との接続方法や、他の機器からの映像を録画する方法は、「他のビデオ機器を使って録画(ダビング)する」(P.114) をご覧ください。

DZ-HS803 は外部入力には対応していません。

設定	設定内容	画面表示
カメラ	通常はこちらに合わせます。	なし
外部	他の機器からの映像を入力するときに合わせます。	入力

外部入力への切り替えかた

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「入力切替」
▶「カメラ」／「外部」

3 ▶/II] で決定後、[メニュー] で終了
・ 入力切替の設定は、電源を切ると「カメラ」に戻ります。

外部入力映像の記録画質を切り替える (静止画外部入力) (DZ-HS903)

カードをお使いで入力切替が外部の場合、外部入力の映像を静止画に撮ることができます。

静止画を撮るときの記録画質を2通りに切り替えられます。動きの少ない映像は「フレーム」で撮ることもできますが、動きのある映像を撮るときは「フィールド」をおすすめします。

静止画外部入力の設定は、電源を切っても記憶されています。

記録方式	設定内容	画面表示
フレーム	高画質ですが、動きの多い画像の録画には適しません。画面にブレが生じやすくなります。動きの少ない画像の記録に適しています。	
フィールド	画面のブレは比較的小さく、動きの多い画像の記録に適しています。	

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「静止画外部入力」▶「フレーム」／「フィールド」

3 [▶/II] で決定後、[メニュー] で終了

- 外部入力映像の静止画の記録画質は、画面表示 (P.40) で確認できません。
- 他の機器との接続のしかたは、「他のビデオ機器を使って録画(ダビング)する」(P.114) をご覧ください。

セルフタイマーを使う

静止画撮影のとき、セルフタイマーを使って撮影できます。

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「セルフタイマー」▶「オン」

3 [▶/II] で決定後、[メニュー] で終了 セルフタイマーが設定され、液晶画面に「⌚10」が表示されます (P.40)。

[フォト/選択] を半押ししてピントを合わせたあと、全押しします。

[⌚10]→[⌚9]→…のようにカウントダウンが始まり、約 10 秒後に撮影されます。カウントダウン中は、レンズ側にある録画ランプも点滅します。

- カウントダウンを中止して、「⌚10」に戻すには、[フォト/選択] か [■] を押しします。

4

- セルフタイマーは、以下のことをするまでオフになりません。([フォト/選択] を全押しするたびに動きます。)
 - メニューでセルフタイマーを「オフ」に設定する
 - 電源を切る
 - 動画撮影に切り替える

HDD

HDD に録画した映像を、DVD にダビングできます。ダビングには次の 4 つの方法があります。

4 つのダビング方法

●「はじめて」ダビング

HDD へ記録したシーンのうち、まだ DVD にダビングしていないシーンを、先頭から順番にダビングします。

●「ひにちで」ダビング

同じ日に HDD へ記録したシーンを先頭から順番にダビングします。

●「まるごと」ダビング

HDD に記録したすべてのシーンを先頭から順番にダビングします。

●「えらんで」ダビング

HDD に記録したシーンから、お気に入りのシーンだけを選んでダビングします。

ダビングにかかる時間

約 30 分のシーンをダビングするときの所要時間の目安は以下のとおりです。

画質モード	所要時間
XTRA	約 23 分*
FINE	約 15 分
STD	約 8 分

ファイナライズの時間を除く

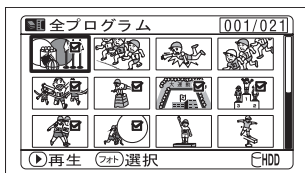
* DVD が 2 枚必要です。

始める前に

- 録画可能な DVD を準備してください。(P.30)
- ダビングするときは必ず AC アダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使ってダビングはできません。
- ダビングの途中で電源が切れて中断すると、正しくダビングできません。
- 1 枚の DVD にダビングできるシーンの記録時間の目安については、「HDD / DVD / カードの記録容量」(P.186) をご覧ください。
- 1 枚の DVD に収まる長さ以上のシーンが含まれているとダビングできません。そのシーンを分割 (P.96) してからダビングしてください。

ダビングするときのヒント

- ダビングできる最大のシーン数は、ダビングする DVD によって異なります (P.187)。
- 一度ダビングしたシーンのサムネイルには、ダビング済マーク「」が表示されます。サムネイルが見づらいときは、「」を消すことができます (P.81)。(ただし、消すとダビングされていないことになります。)



- ダビング済マークのついたシーンだけをダビングしたいときは、HDDの「表示分類」をお使いになると便利です(P.81)。
- 本機でダビングしたDVD-RW(VFモード)／DVD-RをDVDレコーダーやDVDプレーヤーなどで再生するには、「ファイナライズ」が必要です。本機は、ダビングの操作手順の最後にファイナライズできます。

プレイリスト(P.89)とダビングについて

- 本機では、HDDのディスクナビゲーション画面の表示順でDVDへダビングされます。シーンの順番を変えてダビングする場合には、ダビングしたい順番でシーンを登録したプレイリストを作成し(P.90)、その後、ダビングしてください。
- プレイリスト上で異なる日付のシーンを結合し、DVD-RAM／DVD-RW(VRモード)にダビングした場合は、日付ごとに分かれてダビングされます。ただし、異なる日付のシーンを結合したあと、さらにシーン分割をしてからダビングした場合、日付ごとにシーンが分けないことがあります。

編集(分割(P.96)／結合(P.97))、効果設定(フェード(P.99)／スキップ(P.100)／サムネイル(P.101))したシーンとダビングについて

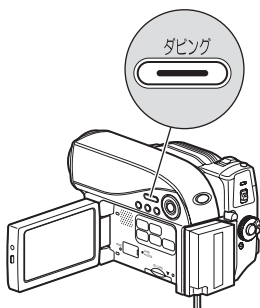
- 編集機能でシーンを分割後、分割した両方のシーンを1枚のDVD-RW(VFモード)／DVD-R／+RWにダビングする場合、分割される前の1つのシーンとしてダビングされます。
- 編集機能を使って結合したシーンをDVD-RW(VFモード)／DVD-R／+RWにダビングした場合、結合する前のそれぞれのシーンに分かれてダビングされます。
- HDDの効果設定は、DVD-RW(VFモード)／DVD-R／+RWにダビングした場合、反映されません。

ダビングするときのご注意

- 本機でダビングしたDVD-RW(VFモード)、DVD-RをDVDレコーダーなどで再生するときは、必ず本機でファイナライズしてください。
- ダビング開始後からダビング中に表示される残り時間はめやすです。シーン数が多かったり、温度が高いときには、画面の表示より時間がかかることがあります。
- 本機の不具合などにより、ダビングが正常にできなかった場合の内容(データ)の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ダビングしたDVDが正しく再生できるかを確認してから、HDDのシーンを削除することをおすすめします。

まだダビングしていないシーンをダビングする (はじめてダビング)

HDDへ記録した、まだDVDにダビングしていないシーンをダビングします。



1

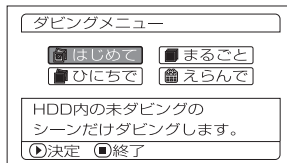
本機にACアダプター/チャージャーを接続する (P.36)
バッテリーパックでは、ダビングできません。

2

電源スイッチを「HDD」に合わせる (P.23)

3

「ダビング」を押す
「ダビングメニュー」が表示されます。



4

「はじめて」▶▶/IIを押す

5

ダビングするDVDを入れる (P.32)

6

ファイナライズの画面を確認する
DVDがDVD-RW (VFモード) またはDVD-Rのときは、ファイナライズができます。
する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選んでください。

本機から取り出したDVD-RW (VFモード)、DVD-RをDVDプレーヤーなどで再生する前に → 「ファイナライズ」してください。(P.109)

7

「はい」▶▶/IIを押す
ダビングを開始します。

8

DVDを交換する
1枚のDVDに収まらないときは、DVD交換の確認画面が表示されます。DVDを交換してください。

9

ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する
「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンをHDDから削除します。
ダビングしたシーンをHDDに残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

10

DVDを取り出す
・または、[■]で、終了します。



- ディスクナビゲーション画面から、「ダビングメニュー」を表示させることもできます。[見る]を押してから、[メニュー]を押して、「シーン」▶「ダビング」▶「ダビングメニュー」を選び、▶/IIで決定します。
- 一度ダビングしたシーンを「はじめてダビング」でダビングするには、ダビング済マークを解除してください。(P.81)
- ダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び▶/IIを押してください。ダビングを中止します。

同じ日に撮影したシーンをまとめてダビングする (ひにちでダビング)

HDD へ同じ日に記録したシーンをまとめて DVD にダビングすることができます。

1

本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.36)
バッテリーパックでは、ダビングできません。

2

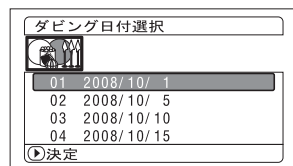
電源スイッチを「HDD」に合わせる (P.23)

3

[ダビング]を押す
「ダビングメニュー」が表示されます。

4

「ひにちで」▶▶/IIを押す
「ダビング日付選択」画面が表示されます。



5

ダビングする DVD を入れる (P.32)

6

ファイナライズの画面を確認する
DVD が DVD-RW (VF モード) または DVD-R のときは、ファイナライズができます。
する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選んでください。

本機から取り出した
DVD-RW (VF モード)、
DVD-R を DVD プレーヤー
などで再生する前に →
「ファイナライズ」して
ください。(P.109)

7

「はい」▶▶/IIを押す
ダビングを開始します。

8

DVD を交換する
1 枚の DVD に収まらないときは、DVD 交換の確認画面が表示されます。DVD を交換してください。

9

ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する
「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

10

DVDを取り出す

- または、[■]で、終了します。



- ディスクナビゲーション画面から、「ダビングメニュー」を表示させることもできます。[見る]を押してから、[メニュー]を押し、「シーン」▶「ダビング」▶「ダビングメニュー」を選び、[▶/II]で決定します。
- ダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び[▶/II]を押してください。ダビングを中止します。

HDD に記録したすべてのシーンをダビングする (まるごとダビング)

HDD に記録したすべてのシーンを先頭から順番に DVD へダビングできます。

1

本機に AC アダプター/チャージャーを接続する (P.36)

バッテリーパックでは、ダビングできません。

2

電源スイッチを「HDD」に合わせ
る (P.23)

3

[ダビング]を押す

「ダビングメニュー」が表示されます。

4

「まるごと」▶[▶/II]を押す

5

ダビングする DVD を入れる (P.32)

6

ファイナライズの画面を確認する
DVD が DVD-RW (VF モード) または
DVD-R のときは、ファイナライズがで
きます。

する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」
を選んでください。

本機から取り出した
DVD-RW (VF モード)、
DVD-R を DVD プレーヤー
などで再生する前に →
「ファイナライズ」して
ください。 (P.109)

7

「はい」▶[▶/II]を押す

ダビングを開始します。

8

DVD を交換する

1 枚の DVD に収まらないときは、DVD 交換の確認画面が表示されます。DVD を交換してください。

9

ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する

「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

10

DVD を取り出す

- または [■] を押して、終了します。



- ディスクナビゲーション画面から、「ダビングメニュー」を表示させることもできます。[見る] を押してから、[メニュー] を押し、「シーン」▶「ダビング」▶「ダビングメニュー」を選び、[▶/II] で決定します。
- ダビング中に [■] を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び [▶/II] を押してください。ダビングを中止します。

HDD に記録したシーンを選んでダビングする (えらんでダビング)

HDD に記録したシーンを選択して、お気に入りのシーンだけを DVD にダビングすることができます。

1

本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.36)

バッテリーパックでは、ダビングできません。

2

電源スイッチを「HDD」に合わせる (P.23)

3

[ダビング] を押す
「ダビングメニュー」が表示されます。

4

「えらんで」▶ [▶/II] を押す

5

ダビングする DVD を入れる (P.32)

6

ダビングしたいシーンを [▶/II] で選ぶ



- 複数のシーンを選ぶこともできます。
- [フォト/選択] で選ぶこともできます。

7

[ダビング] を押す

8

ファイナライズの画面を確認する
 DVDがDVD-RW（VFモード）またはDVD-Rのときは、ファイナライズができます。
 する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選んでください。

本機から取り出したDVD-RW（VFモード）、DVD-RをDVDプレーヤーなどで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。（P.109）

9

「はい」▶▶[▶/II]を押す
 ダビングを開始します。

10

DVDを交換する
 1枚のDVDに収まらないときは、DVD交換の確認画面が表示されます。DVDを交換してください。

11

ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する
 「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンをHDDから削除します。
 ダビングしたシーンをHDDに残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

12

DVDを取り出す
 • または、[■]を押して、終了します。



- ディスクナビゲーション画面から、「ダビングメニュー」を表示させることもできます。[見る]を押してから、[メニュー]を押し、「シーン」▶「ダビング」▶「ダビングメニュー」を選び、[▶/II]で決定します。
- ダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び[▶/II]を押してください。ダビングを中止します。

ダビング済／未ダビングのシーンを一覧する (表示分類)

HDD に記録したシーンを、DVD にダビングしたシーンと、まだダビングしていないシーンとに分けて、ディスクナビゲーション画面に表示します。

表示分類の設定

全て

ダビングしたかどうかに関係なく、撮影順にすべて表示します。

ダビング済

ダビング済マーク「」のついたシーンを撮影順に表示します。

未ダビング

ダビング済マーク「」のついていないシーンを撮影順に表示します。

「表示分類」を設定する

- 1 [見る]を押してから、[メニュー]を押す

- 2 「その他設定」▶「表示分類」▶表示分類の設定を選ぶ

- 3 /II を押し、[メニュー]で終了
• ディスクナビゲーション画面を終了すると、「全て」に戻ります。

ダビング済みのシーンを、はじめてダビングできるようにする (マーク解除)

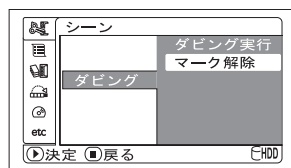
1 度ダビングしたシーンでも、ダビング済みマーク「」を解除すれば、はじめてダビングできるようになります。

ダビング済みマーク「」解除のしかた

- 1 [見る]を押す

- 2 ダビング済マークを消したいシーンにカーソルを合わせ、[フォト/選択]を押してから、[メニュー]を押す
• 複数のシーンを選択できます。

- 3 「シーン」▶「ダビング」▶「マーク解除」▶/II で決定する
• 確認画面が表示されます。



- 4 [■]で終了

すでに使用してきた「見る」と「メニュー」を、ここでさらに使いこなします。次のような機能があります。

便利な再生

シーンに変更を加えずに、編集を行った後のように再生する方法です。以下のような機能があります。

● プログラム (P.86)

シーンを日付単位で再生する機能です。

その日の最も早い時間から順に再生されます。

● プレイリスト (P.89)

好みのシーンを集めてプレイリストとして保存し、再生する機能です。

一度作成したプレイリストの中のシーンを選んで削除したり、逆に追加したりできます。

● その他

その他の便利な再生として、フェード (P.99)、スキップ (P.100)、サムネイル (P.101) などがあります。

シーンに変更を加える編集

● シーンの削除 (P.95)

● 動画シーンの2分割 (P.96)

● 動画シーンの結合 (P.97)

編集に役立つ機能

● ジャンプ (P.101)

メディア内のすべてのシーンをとおしでカウントし、ジャンプさせる機能です。先頭シーン、最後のシーンへのジャンプが可能です。

● 情報表示 (P.103)

シーンを選んで、動画、静止画の録画した日時、画質、録画時間（動画のみ）、設定した内容の確認ができます。

● ロック (P.102)

カードのシーンをうっかり削除することのないように、シーンを選んでロックできます。（シーンをすべて選んでロックすることもできます。）

● 初期化 (P.104)

すべてのデータを削除したいときは、この機能が使えます。

ディスクナビゲーションから使うメニューについて

以下はディスクナビゲーション画面で[メニュー]を押して使う機能と、その機能が使えるメディアの一覧です。

本編「編集する」以外の機能もすべて記載されています。

できること	HDD	DVD					カード	内 容	参照先
		-RAM	-RW(VR)	-RW(VF)	±	±RW			
シーンの編集	●	●	●				▲*1	シーンの削除、結合、分割などができます。	P.95
シーンの効果設定	●	●	●					フェードやスキップを設定したり、サムネイルを変更できます。	P.99 P.101
DVD からカードへのコピー		●						DVD-RAM に記録されている静止画をカードにコピーできます。 (本機では DVD-RAM への静止画記録はできません。)	P.102
シーンのロック							●	誤ってシーンを削除しないよう、各シーンをロックできます。	P.102
シーンの情報表示	●	●	●	●	●	●	●	1つ、または複数のシーンの画質や記録時間などの情報を表示します。	P.103
タイトル変更	●	●	●					プレイリストやプログラムのタイトルを変更できます。	P.87 P.94
プレイリストの作成	●	●	●					シーンの組み合わせを替えて、オリジナルムービーが作成できます。	P.90
初期化	●	●	●	●		●	●	HDD / DVD / カードに記録したデータをすべて削除できます。	P.104
プロテクト	●	●	●					誤ってシーンを削除したり、HDD や DVD を初期化したりしないよう、プロテクトをかけることができます。	P.105
残量表示	●	●	●	●	●	●	●	あとどのくらいの時間 / 枚数が撮影可能が表示します。	P.106
DVD のファイナライズ			●*2	●	●	●		本機で撮影した DVD-RW / DVD-R を、DVD プレーヤーなどの対応機器で再生するためにファイナライズします。(DVD-RAM はファイナライズの必要がありません。)	P.111
DVD のファイナライズ解除				●		●		ファイナライズを解除し、追加記録できるようにします。	P.112
リPEAT再生	●	●	●	●	●	●		シーンの繰り返し再生ができます。	P.54
スライドショー							●	静止画の連続再生をします。	P.53

*1 削除のみできます。

*2 DVD-RW(VR モード) は、ファイナライズ後、そのまま追加記録できます。

ご注意

シーンの効果設定は、本機のオリジナル機能です。本機で効果設定したシーンをDVDに録画してDVDレコーダー／プレーヤーで再生したり、パソコンに取り込んでも、設定結果は反映されません。効果設定も一緒にダビングしたいときは、「他のビデオ機器に録画（ダビング）する」（P.116）をご覧ください。

■ ディスクナビゲーション画面からのメニューの推移

ディスクナビゲーション画面で [メニュー] を押したあとの、メディア別の推移です。操作には、[◀◀] / [▶▶] / [▶▶▶] / [◀◀◀] などを使います。「メニュー操作について」（P.55）をご覧ください。

HDD / DVD-RAM / DVD-RW（VRモード）をお使いの場合

●：かんたんメニューで表示される項目

シーン	編集	削除 (P.95)	●
		分割 (P.96)	●
		結合 (P.97)	
		並べ替え *1	
	効果	フェード	●
		スキップ	
		サムネイル	
	ダビング *2 (P.74) (HDDのみ)	ダビング実行	●
		マーク解除 (P.81)	●
	コピー *3 (P.102)		●
	選択 (P.47)	先頭からカーソル	
		カーソルから末尾	
		全て	
	情報表示 (P.103)		

プレイリスト	切替	
	再生	
	新規作成	
	編集	
	タイトル変更	
	削除	
	切替	
プログラム	再生	
	タイトル変更	

ジャンプ (P.101)	先頭		
	末尾		
HDD 設定 (HDD 時) DVD 設定 (DVD 時)	ファイナライズ *4 (P.111)	●	
	初期化 (P.104)	●	
	プロテクト (P.105)		
	残量表示 (P.106)		
	管理情報更新 (P.155)		
	完全消去 *2 (P.163)		
その他設定	表示分類 *2 (P.81)	全て	
		ダビング済	
		未ダビング	
	表示分類 *3 (P.106)	全て	
		動画	
		静止画	
	リピート再生 (P.54)	オン	●
		オフ	●
	TV 接続設定	16:9	●
		4:3	●

*1 プレイリストを表示しているときに表示されます。

*2 HDDのみ

*3 DVD-RAMのみ

*4 DVD-RW（VRモード）のみ

DVD-RW (VF モード) / DVD-R / +RW をお使いの場合

●：かんたんメニューで表示される項目

シーン	選択 (P.47)	先頭からカーソル	
		カーソルから末尾	
		全て	
	情報表示 (P.103)		
プログラム	切替		
	再生		
ジャンプ (P.101)	先頭		
	末尾		

DVD 設定	ファイナライズ (P.111)		●
	ファイナライズ解除 (P.112) (DVD-RW / +RW のみ)		●
	初期化 (P.104) (DVD-RW / +RW のみ)		●
	残量表示 (P.106)		
その他設定	リピート再生 (P.54)	オン	●
		オフ	●
	TV 接続設定	16:9	●
		4:3	●

カード をお使いの場合

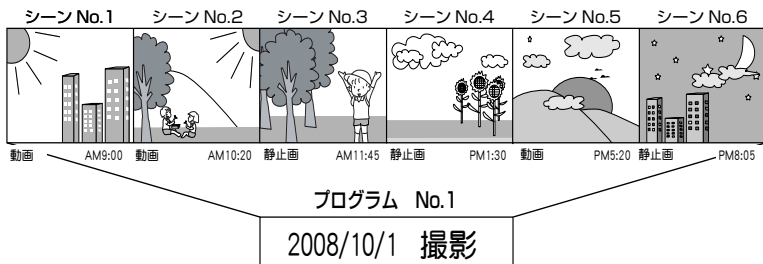
●：かんたんメニューで表示される項目

シーン	削除 (P.95)		●
	ロック (P.102)		
	選択 (P.47)	先頭からカーソル	
		カーソルから末尾	
		全て	
	情報表示 (P.103)		

ジャンプ (P.101)	先頭		
	末尾		
カード	初期化 (P.104)		●
	残量表示 (P.106)		
スライドショー (P.53)	スタート		●

プログラムごとに選ぶ

撮影日ごとのまとまりが「プログラム」になります。



HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (+RW)

■ プログラムごとの表示に切り替える (プログラム)

1

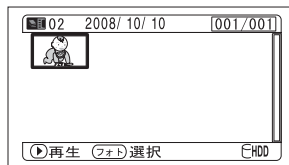
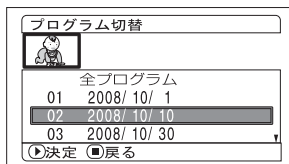
「見る」を押してから、[メニュー]を押す

2

「プログラム」▶「切替」▶「▶/II」を押す
プログラム切替画面が表示されます。

3

表示したいプログラムを選び、[▶/II]を押す
選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。



- 「プログラム切替」画面で [■] を押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
- 他の機器で録画した DVD が入っているとき、プログラムは撮影日ごとのまとまりになっていないことがあります。
- +RW をお使いのときは、画質を変更したり、ワイドモードの切替をすると、同じ日に撮影したものでも、プログラムが分かれます。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (RW)

■ プログラムを再生する (再生)

選んだプログラムだけ再生することができます。

1 [見る]を押してから、[メニュー]を押す

2 「プログラム」▶「再生」▶[▶/II]を押す

3 再生したいプログラムを選び、
[▶/II]を押す
選んだプログラムの先頭から再生が始まります。



「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プログラムも繰り返し再生されます (P.54)。

HDD (RAM) (RW(VR))

■ プログラムのタイトルを変更する (タイトル変更)

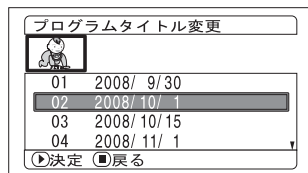
プログラムのタイトルには、撮影した日付がついています。
この日付をお好みのタイトルに変えることができます。

1 [見る]を押してから、[メニュー]を押す

2 「プログラム」▶「タイトル変更」
▶[▶/II]を押す

タイトルを変更したいプログラムを選び、[▶/II]を押す

3



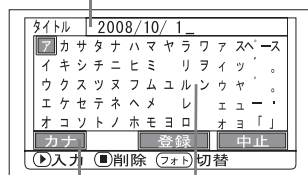
タイトル設定画面が表示されます。

文字を選び、[▶/II]を押す
(1文字ごと)

選んだ文字が入力されます。

- これを繰り返してタイトルをつけます。
半角で最大 20 文字まで設定できます。

タイトル入力バー



入力モード

4

選択文字パレット

- 文字の種類 (入力モード) や削除について詳しくは、「タイトル入力について」(P.88) をご覧ください。
- [フォト/選択]を押すと、カーソル位置が「タイトル入力バー」
→「選択文字パレット」→「入力モード」→「中止」の順に切り替わります。
[◀◀] / [▶▶] / [▶▶▶] / [◀◀◀] で上下左右に動かして、カーソル位置を変えることもできます。
- タイトル入力を中止する場合は、タイトル入力画面で「中止」を選んでください。中止の確認画面が表示されるので、「はい」を選んでください。

5

入力が終わったら、「登録」を選び、
[▶/II]を押す

確認画面が表示されます。

6

「はい」▶[▶/II]で決定

選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

- 設定しない場合は「いいえ」を選ぶか、[■]を押してください。タイトル入力画面に戻ります。

タイトル入力について

- タイトルの入力モードは「カナ」の他に「英数」「記号」「定型文」が選べます。入力モードは以下のどちらかで変更できます。
 - [画面表示]を押す
 - [フォト/選択]で入力モードにカーソルを合わせたあとで[▶/II]を押す
- タイトルの文字を消すときは[■]を押してください。
 - 1回押すと1文字削除できます。
 - 押し続けると、「タイトル入力バー」に表示してある文字をす

べて削除できます。

- リモコンの[削除]を押しても、同様に削除できます。

カナモード

入力モード

英数モード

記号モード

定型モード

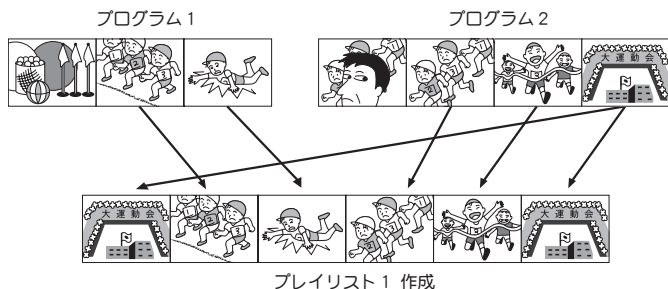
ご注意

- 他の機器で全角文字のタイトルを設定した場合、本機で表示すると空白になることがあります。
- 本機で設定したタイトルは、他の機器で表示されないことがあります。

プレイリスト

■ プレイリストとは？

録画したシーンの中から好みのシーンを集めたリストのことです。
データをコピーして作るわけではありませんので、HDD / DVD 容量はほとんど使いません。また、プレイリストを削除しても実際の録画データは削除されません。(したがって容量も増えません。)



プレイリストは No. 99 まで作成可能です。
ただし、No. 1 ～ No. 99 までのシーン総数は、最大 999 シーンです。

■ プレイリストを作成する (新規作成)

1 [見る]を押す

2 プレイリストに登録したいシーンを選び、[メニュー]を押す

- 複数のシーンを選ぶこともできます。
(P.47)

3 「プレイリスト」▶「新規作成」

▶ [▶/II] を押す

4 選んだシーンに変更がなければ「はい」を選び、[▶/II]を押す

プレイリストを作成し、作成したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。



- 作成されたプレイリストは、シーンの情報としてのみ記録されます。プレイリストを作成したり、削除しても、元のシーンはなくなりません。また、プレイリストのシーンを編集しても、元のシーンには影響しません。
- シーンに「スキップ設定」や「フェード設定」などの設定がある場合やダビング済マーク「」がついている場合、その情報もプレイリストに加わります。
- 作成したプレイリストに別のシーンを追加したり、不要なシーンを削除することもできます (P.91)。
- プレイリストのタイトルは、プレイリストを作成した日時となります。後からタイトルを変更することができます (P.94)。
- 手順4のとき、[▶/II]を押す前に[メニュー]を押すと、サブメニューが表示されます。

ご注意

HDD / DVD の残量が無くなると、プレイリストを作成できなくなることがあります。

■ プレイリスト ごとの表示に 切り替える (切替)

複数のプレイリストからお好みのものを選び、ディスクナビゲーション画面が表示されます。

1 [見る]を押してから、[メニュー]を押す

2 「プレイリスト」▶「切替」▶ [▶/II] を押す

プレイリスト切替画面が表示されます。

3 表示させたいプレイリストを選び、[▶/II]を押す

選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。



全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻すときは、「プレイリスト」▶「全プログラム」を選んでください。

● **プレイリストの内容を編集する**
プレイリストの内容を編集するのは、シーンやプログラムに設定する方法と同じです。それぞれの参照ページでご覧になり、設定してください。

ダビング.....	P.74
シーンの分割.....	P.96
シーンの削除.....	P.95
シーンの結合.....	P.97
シーンの並べ替え.....	P.94
(プレイリストのみ)	
フェード設定.....	P.99
スキップ設定.....	P.100
サムネイル設定.....	P.101
タイトル変更.....	P.87

■ プレイリストを再生する (再生)

1 [見る]を押してから、[メニュー]を押す

2 「プレイリスト」▶「再生」▶[▶/II]を押す
プレイリスト再生画面が表示されます。

3 再生したいプレイリストを選び、
[▶/II]を押す
選んだプレイリストが最初から再生されます。
• 再生を途中でやめたい場合は、[■]を押してください。再生中のプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。



「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プレイリストも繰り返し再生されます (P.54)。

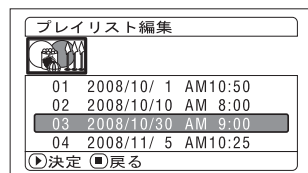
■ プレイリストにシーンを追加する (編集)

1 [見る]を押してから、[メニュー]を押す

2 「プレイリスト」▶「編集」▶[▶/II]を押す
プレイリスト選択画面が表示されます。

3 編集したいプレイリストを選び、
[▶/II]を押す
上段に追加できるシーンが表示され、下段に編集するプレイリストが表示されます。

4 [◀◀] / [▶▶]で追加したいシーンを選び、[▶/II]を押す



- 複数のシーンを選ぶこともできます。
(P.47)

5 [▶▶]でカーソルを下段に移動させ、
[◀◀] / [▶▶]で挿入位置を選ぶ



追加するシーン

挿入位置

6 [▶/II]を押す
• 他のシーンも追加する場合は、手順5～6を繰り返します。

[■]を押す

終了確認画面が表示されます。



- 設定の途中で編集を終了するには、[■]を押して、「はい」を選びます。「いいえ」を選ぶと「プレイリスト編集」画面に戻ります。
- 緑の I (カーソル) は、画面の挿入位置を示します。
- [画面表示]を押すごとに、操作ガイド、選択しているシーンの撮影日時、動画画質、画面比率、(HDD 使用時) 記録時間が表示されます。
- 手順4～5のときに[メニュー]を押すとサブメニュー画面が表示されます。このサブメニューからもシーンの追加が可能です。詳しくは、「サブメニューを使った編集」(P.96)をご覧ください。
- ダビング済マークのついたシーンを追加した場合は、プレイリストでもマークが表示されます。

■ プレイリストのシーンを削除する (編集)

[見る]を押してから、[メニュー]を押す

「プレイリストにシーンを追加する (編集)」の手順2～4を行う

[▶▶]で下のプレイリストにあわせ、[[◀◀] / [▶▶]で削除したいシーンを選ぶ

- 複数のシーンを選ぶこともできます (P.47)。

▶/IIを押す

- 他のシーンも削除する場合は、手順3を繰り返します。

[■]を押す

終了確認画面が表示されます。



削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの[削除]を押しても、プレイリストのシーンを削除することができます。

■ 編集のサブメニューを使ったシーンの追加 (編集)

編集画面のメニューで、プレイリストに別のシーンを追加することができます。

[見る]を押してから、[メニュー]を押す

編集したいプレイリストの編集画面を表示させる

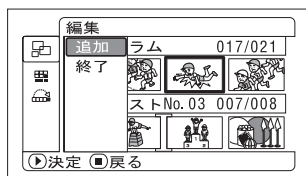
「プレイリストにシーンを追加する (編集)」(P.91) の手順2、3の操作をしてください。

下段のプレイリストにカーソルを移動させる
シーンを挿入したい位置に緑の I カーソルを合わせる



挿入位置

- 4 上段のプレイリストにカーソルを移動させる
追加したいシーンにカーソルを合わせ、
[メニュー]を押す



- 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.47)

- 5 「編集」▶「追加」▶[▶/II]を押して決定する
• 手順3～5を繰り返して、他のシーンも追加できます。

- 6 [■]を押す
終了確認画面が表示されます。

- 7 「はい」▶[▶/II]を押す
編集したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

■ 編集のサブメニューを使ったシーンの削除 (編集)

編集画面のメニューで、プレイリストのシーンを削除することができます。

- 1 [見る]を押してから、[メニュー]を押す

編集したいプレイリストの編集画面を表示させる

- 2 「プレイリストにシーンを追加する (編集)」(P.91) の手順2、3の操作をしてください。

- 3 下段のプレイリストにカーソルを移動させる

- 4 削除したいシーンにカーソルを合わせ、
[メニュー]を押す
• 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.47)

- 5 「編集」▶「削除」▶[▶/II]を押して決定する
• 手順3～5を繰り返して、他のシーンも削除できます。

- 6 [■]を押す
終了確認画面が表示されます。

- 7 「はい」▶[▶/II]を押す
編集したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。



プレイリストに登録してあるシーンをすべて削除すると、プレイリストも削除されます。

■ 編集のサブメニューを使ったシーンの選択 (編集)

連続している複数のシーンをプレイリストに追加したり、プレイリストから連続している複数のシーンを削除するとき、シーンの範囲を指定することができます。

シーンの追加や削除で、複数のシーンを選択するときに便利です。

- 1** [見る]を押してから、[メニュー]を押す

- 2** 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
「プレイリストにシーンを追加する(編集)」(P.91)の手順2、3の操作をしてください。

- 3** 選択したい最初または最後のシーンにカーソルを合わせ、[メニュー]を押す
• すべてのシーンを選択するときは、そのまま[メニュー]を押してください。

- 4** 「選択」▶「先頭からカーソル」／「カーソルから末尾」／「全て」▶▶[▶/II]を押す

- 5** [■]を押す
終了確認画面が表示されます。

- 6** 「はい」▶▶[▶/II]を押す
編集したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

■ プレイリストのシーンを並べ替える(編集)

- 1** [見る]を押してから、[メニュー]を押す

- 2** 「プレイリスト」▶「切替」▶▶[▶/II]を押す
プレイリスト切替画面が表示されます。

- 3** 編集したいプレイリストを選び、[▶/II]を押す
対象となるプレイリスト画面が表示されます。

- 4** 移動したいシーンを選び、[メニュー]を押す
• 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.47)

- 5** 「シーン」▶「編集」▶「並べ替え」▶▶[▶/II]を押す

- 6** 移動したい場所を選んで、[▶/II]を押す
確認画面が表示されます。

- 7** 「はい」▶▶[▶/II]を押す
並べ替え後は、プレイリストの表示画面に戻ります。
• 並べ替えをしない場合は、「いいえ」を選びます。

ご注意

DVD-RAM をご使用の場合、シーンの並べ替えができるのは表示分類が「全て」の場合のみです(P.106)。

■ プレイリストのタイトルを変更する(タイトル変更)

プレイリスト作成時には、作成順通し番号と作成日時が自動的にタイトルになりますが、このタイトルをお好みのものに変更できます。
(タイトルは、何度でも変更できます。)

- 1** [見る]を押してから、[メニュー]を押す

- 2** 「プレイリスト」▶「タイトル変更」▶▶[▶/II]を押す
「プレイリストタイトル変更」画面が表示されます。

3

タイトルを変更したいプレイリストを選び、**[▶/II]**を押す
タイトル設定画面が表示されます。

4

タイトルを変更する

- 変更方法は「プログラムのタイトルを変更する(タイトル変更)」(P.87)と同様です。
- 変更後は、タイトル変更したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

■プレイリストを削除する(削除)

作成したプレイリストを削除することができます。プレイリストを削除しても、元のシーンは削除されません。

1

[見る]を押してから、**[メニュー]**を押す

2

「プレイリスト」▶「削除」▶[▶/II]を押す
「プレイリスト削除」画面が表示されます。

3

削除したいプレイリストを選び、**[▶/II]**を押す

4

「はい」▶[▶/II]を押す
削除後は、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
・削除しない場合は「いいえ」を選びます。



プレイリストを削除すると、プレイリスト番号は自動的に変更されます(例えば、No. 2 のプレイリストを削除すると、No. 3 のプレイリストが No. 2 のプレイリストになります)。

HDD (RAM-RW(VR))カード

シーンを削除する(編集～削除)

いらないシーンを削除してみましょう。

1 **[見る]**を押す

2

削除したいシーンを選び、**[メニュー]**を押す
・複数のシーンを選ぶこともできます。(P.47)

3

- HDD / DVD の場合
「シーン」▶「編集」▶「削除」▶[▶/II]を押す
- カードの場合
「シーン」▶「削除」▶[▶/II]を押す
確認画面が表示されます。

4

「はい」▶[▶/II]を押す
シーンが削除され、ディスクナビゲーション画面に戻ります。



- ディスクナビゲーション画面で削除したいシーンにカーソルを合わせてから、リモコンの**[削除]**で「シーン削除」を実行できます。
- HDD / DVD-RAM / DVD-RW (VR モード) の場合、1つのシーンの中の不要な部分を削除するときは、不要な部分の前後でシーンを分割してから(P.96)、不要なシーンを削除します。

ご注意

- シーンの削除をしても削除部分の時間や枚数が少ない場合は、残量表示が増加しない場合があります。
- カードをご使用の場合、ロックされているシーンは削除できません (P.102)。
- HDD/DVD/カードの中のすべてのデータを削除してもよい場合は、初期化してください。

● サブメニューを使った編集

ディスクナビゲーション画面からのメニュー表示 (P.84) 以外に、途中の手順で [メニュー] を押すことにより表示されるサブメニューがあります。

- ・サブメニューが使える手順でのみ表示されます。
- ・その手順で使えるサブメニュー項目が表示されます。
- ・[■]を押すと元の手順に戻ります。

例えば、「シーンを削除する (編集～削除)」(P.95) では、手順3で [▶/II] を押す前に [メニュー] を押すと、以下のサブメニューが表示されます。

サブメニュー項目		説明
編集	削除	選択したシーンを削除します。
	終了	ディスクナビゲーション画面に戻ります。
選択	先頭からカーソル	先頭から現在カーソルのあるシーンまで選択します。
	カーソルから末尾	現在カーソルのあるシーンから末尾まで選択します。
	全て	すべてのシーンを選択します。
ジャンプ	先頭	カーソルを先頭のシーンに移動します。
	末尾	カーソルを末尾のシーンに移動します。

HDD (RAM・RW/VR)

動画を分割する
(編集～分割)

シーンを2つに分割できます。シーンの不要な部分を削除するとき、分割してから不要なほうを削除します。

1 [見る] を押す

2 分割したいシーンを選び、[メニュー] を押す

3 「シーン」▶「編集」▶「分割」▶[▶/II] を押す

「シーン分割」画面が表示されます。

4 分割したいシーンに変更がなければこのまま [▶/II] を押す

選択したシーンが再生されます。

5 分割したい位置になったら、[フォト/選択] を押す

確認画面が表示されます。

6 「はい」▶[▶/II] を押す

2分割され、ディスクナビゲーション選択画面に戻ります。

- ・分割しない場合は「いいえ」を選びます。再生一時停止の画面に戻るので、[■]で終了します。



- 手順3のとき **[▶/II]** を押す前に **[メニュー]** を押すと、サブメニュー画面が表示されます (P.96)。
- 分割位置を指定するときは、サーチやコマ送りを使うと便利です (P.52)。
- 分割前のシーンにフェード設定をしていた場合は、インの効果は前半のシーンに、アウトの効果は後半のシーンに引き継がれます (P.99)。
- 一度分割したシーンは、結合すると元のシーンに戻ります。

ご注意

- スキップが設定されているシーンは再生できないため、分割位置を指定できません。スキップを解除してから分割してください。
- 分割時のコマ送り、スロー再生は正方向、逆方向ともに 0.5 秒ごとになります。
- 分割位置がシーンの先頭・末尾の場合、メッセージが表示され、指定できません。
- 記録時間が 0.5 秒以下の動画は分割できません。
- HDD、DVD の残量が無くなると、分割できなくなることがあります。この場合は、不要な映像を削除してください。
- ダビング済みマーク「」のついたシーンを分割すると、分割後、両方のシーンに「」が表示されます。

HDD (RAM・RW/VR)

複数の動画を結合する (編集～結合)

短いシーンをたくさん撮ったときなど、一つにまとめると便利です。結合するには、必ず連続している複数の動画を選択してください。また、HDD、DVD-RAM をお使いのときは表示分類が「全て」の場合 (P.81、106) のみ結合できます。静止画を結合することはできません。

1 [見る] を押す

2 結合したいシーンを選び、**[メニュー]** を押す
複数のシーンを選んでください (P.47)。単数シーンは結合できません。

3 「シーン」▶「編集」▶「結合」▶ **[▶/II]** を押す
「シーン結合」画面が表示されます。

4 結合したい最初のシーンにカーソルを合わせ、**[▶/II]** を押す
カーソルが、青色と黄色の二重の枠になり、画面左下の表示が「終点決定」に変わります。

5 結合したい範囲の最後のシーンにカーソルを合わせ、**[▶/II]** を押す
カーソルが赤色の枠に変わります。最後のシーンは赤色と黄色の二重の枠になります。

6

結合したいシーンに変更がなければ
このまま **[▶/II]** を押す

確認画面が表示されます。

確認画面で表示される2つの画像は、結合する最初のシーンと最後のシーンです。

- 結合するシーンを変更したい場合は、**[■]** を押すとカーソルが黄色に戻るので、選択し直すことができます。

7

「はい」▶ [▶/II] を押して決定する

結合後は、「シーン結合」のシーン選択画面に戻ります。

サムネイルは選択した最初のシーンが表示されます。

- 手順3～6を繰り返して、他のシーンも結合できます。
- 結合しない場合は「いいえ」を選んでください。手順4の画面に戻るので、**[■]** を押して選択を解除してください。「シーン結合」のシーン選択画面に戻ります。

8

[■] を押して、終了する



- 手順4のとき、**[▶/II]** を押す前に**[メニュー]**を押すと、サブメニュー画面が表示されます(P.96)。
- フェード設定は、選択範囲の先頭のシーンのインの効果と、最終のシーンのアウトの効果が引き継がれます。

で注意

- プログラムが異なる（撮影した日が違う）シーンの結合はできません。結合したい場合は、プレイリストを作成してください(P.90)。
- HDDをお使いのとき、異なるシーンの結合はできません。
- ダビング済みマーク「**☑**」のついたシーン同士を結合した場合は、結合後のシーンに「**☑**」が表示されます。
- ダビング済みマーク「**☑**」のついたシーンとついていないシーンを結合した場合は、結合後のシーンに「**☑**」は表示されません。

シーンを効果的に演出する (効果～フェード)

シーンの最初と最後にフェードを設定できます。

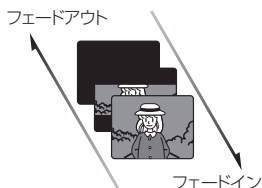
フェード設定は次の3種類です。

ホワイト



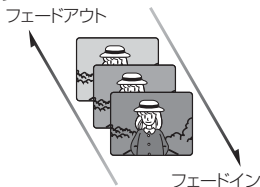
- 白い画面からフェードイン
- 白い画面へフェードアウト

ワイプ



- 黒い画面から画面上下方向へフェードイン
- 画面上下方向から黒い画面へフェードアウト

モノトーン



- 白黒の画面からカラー画面へフェードイン
- カラー画面から白黒画面へフェードアウト

1 [見る]を押す

2 設定したいシーンを選び、[メニュー]を押す

- 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.47)

3 「シーン」▶「効果」▶「フェード」

▶[▶/II]を押す

- 「フェード設定」画面が表示されます。

4 設定したいシーンに変更がなければ このまま[▶/II]を押す

「イン」と「アウト」の効果をそれぞれ選ぶ▶「登録」▶[▶/II]を押して決定する

メッセージ表示後にディスクナビゲーション画面に戻ります。

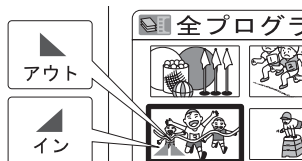
5

- 「イン」「アウト」「登録/中止」は、[◀◀/▶▶]でカーソル位置が移動します。
- 「イン」と「アウト」の効果は、[◀◀/▶▶]で選び、[▶/II]で設定します。
- 設定しない場合は「中止」を選びます。
- 他のシーンにもフェード設定する場合、手順2～5を繰り返します。

[■]を押して、終了する

フェードイン、フェードアウトが設定されているシーンには、それぞれフェードアイコン「▲」「▼」が表示されます。

6



ご注意

- 本機でフェード設定したシーンを、DVDに録画してDVDレコーダー／プレーヤーで再生したり、パソコンに取り込む場合、フェード設定は反映されません（「ご注意」(P.84)）。
- DVD-RW（VF モード）/DVD-R/+RW にダビングする場合、フェード設定は反映されません（P.75）。

HDD (RAM・RW/VR)**シーンを飛ばして再生する
(効果～スキップ)**

再生したくないシーンにスキップを設定しておく、そのシーンは再生されません。

1 [見る]を押す**2** スキップしたいシーンを選び、
[メニュー]を押す

- 複数のシーンを選ぶこともできます。（P.47）

3 「シーン」▶「効果」▶「スキップ」
▶▶[▶/II]を押す

「スキップ設定」画面が表示されます。

4 スキップしたいシーンに変更がなければそのまま[▶/II]を押す

- この画面でスキップするシーンを変更できます。設定ごとに「スキップ設定」のシーン選択画面に戻る、他のシーンにも続けてスキップ設定ができます。

[■]を押す

スキップが設定されているシーンには、スキップアイコン「▶」が表示されます。

5

スキップアイコン



- **スキップ設定を解除するには**
スキップを設定するときと、同じ手順で行います。
スキップアイコンが消え、スキップが解除されます。



手順4のとき[▶/II]を押す前に[メニュー]を押すと、サブメニュー画面が表示されます（「サブメニューを使った編集」(P.96)）。

ご注意

- 本機でスキップ設定したシーンを、DVDに録画してDVDレコーダー／プレーヤーで再生したり、パソコンに取り込む場合、スキップ設定は反映されません（「ご注意」(P.84)）。
- DVD-RW（VF モード）/DVD-R/+RW にダビングする場合、スキップ設定は反映されません（P.75）。

サムネイル画像を変更する (効果～サムネイル)

サムネイルの画像は、通常撮影したときのシーンの最初の場面になっていますが、この画像を変えることができます。インパクトのある場面をサムネイルの画像に設定すると、ディスクナビゲーション画面だけで何を撮影したシーンかが一目で分かり、とても便利です。

1 [見る]を押す

2 サムネイルを変更したいシーンを選び、[メニュー]を押す

3 「シーン」▶「効果」▶「サムネイル」▶「▶/II」を押す 「サムネイル変更」画面が表示されます。

4 変更したいシーンに変更がなければそのまま「▶/II」を押す 選択したシーンが再生されます。 • 別のシーンのサムネイルを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 設定したい場面になったら、[フォト/選択]を押す 確認画面が表示されます。

6 「はい」▶「▶/II」を押す 「サムネイル変更」のシーン選択画面に戻ります。 • 変更しない場合は「いいえ」を選んでください。 • 手順4～6を繰り返して、他のシーンも変更できます。

7 [■]で終了する



手順5のとき [フォト/選択] を押す前に [メニュー] を押すと、サブメニュー画面が表示されます（「サブメニューを使った編集」(P.96)）。

ご注意

- 静止画のサムネイル画像の変更はできません。
- スキップが設定されているシーンは再生できないため、サムネイル変更はできません。スキップを解除 (P.100) してから変更してください。
- 本機でサムネイル設定したシーンを、DVD に録画して DVD レコーダー/プレーヤーで再生したり、パソコンに取り込む場合、サムネイル設定は反映されません（「ご注意」(P.84)）。
- DVD-RW (VF モード) /DVD-R/+RW にダビングする場合、サムネイル設定は反映されません (P.75)。

ジャンプ

最初に撮ったシーン、最後に撮ったシーンへカーソルを移動できる機能です。

1 [見る]を押してから、[メニュー]を押す

2 「シーン」▶「ジャンプ」▶「先頭」/「末尾」▶「▶/II」を押す ディスクナビゲーション画面で、先頭または末尾のシーンにカーソルが移動します。

DVD-RAM の静止画をカードにコピーする (コピー)

コピーしたい静止画 (DVD-RAM に静止画を撮影できる日立製 DVD カメラで撮影したもの) が保存してある DVD-RAM と、空きのあるカードを本機にセットしてください。

動画のコピーはできません。

動画を含むシーンをすべて選択しても、静止画のみコピーされます。

1 電源スイッチを「DVD」に合わせる

2 [見る] を押す

カードへコピーしたいシーンにカーソルを合わせ、[メニュー] を押す

- 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.47)

4 「シーン」▶「コピー」

▶ [▶/II] を押す

「カードへコピー」の画面が表示されます。

5 コピーしたいシーンに変更がなければそのまま [▶/II] を押す

- カードにコピーするシーンを変更したい場合は、この画面で変更できます。

6 「はい」▶ [▶/II] を押す

- コピーしない場合は「いいえ」を選んでください。
- コピー後は、「カードへコピー」のシーン選択画面に戻ります。手順 5～6 を繰り返して、他のシーンもカードにコピーすることができます。

7 [■] を押して終了する



- 手順 5 のとき [▶/II] を押す前に [メニュー] を押すと、サブメニュー画面が表示されます。(「サブメニューを使った編集」(P.96))
- DVD-RAM に録画されている静止画を確認したいときは、「表示分類」(P.106) をご覧ください。

で注意

- カードから DVD へのコピーはできません。
- DVD からカードへコピーした静止画の画質は、DVD で録画したときの画質のままでコピーされます。

カード

カードのシーンをロックする

カードに録画してあるシーンを誤って削除したり、編集したりしないようにシーンごとにロックすることができます。

1 電源スイッチを「SD」に合わせる (P.43)

2 [見る] を押す

3 ロックしたいシーンを選び、[メニュー] を押す

- 複数のシーンを選ぶこともできます。(P.47)

4 「シーン」▶「ロック」▶ [▶/II] を押す

- 「ロック設定」画面が表示されます。

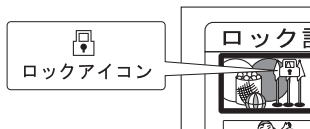
5

ロックしたいシーンに変更がなければ
そのまま **[▶/II]** を押す

6

[■] で終了する

ディスクナビゲーション画面に戻ります。
ロック設定されているシーンには、ロック
アイコン「」が表示されます。



● ロック設定を解除するには

ロックを解除したいシーンを選び、
「カードのシーンをロックする」の手
順4～5を行ってください。ロックア
イコン「」が消え、ロックが解除さ
れます。



手順5のとき、**[▶/II]** を押す前に
「メニュー」を押すと、サブメニュー
画面が表示されます (P.96)。

ご注意

シーンにロックをかけていても、カー
ドの初期化をすると削除されます。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (+RW) カード

シーンの情報を表示する (情報表示)

シーンの録画日時や録画時間、あるいは
設定したフェード設定などの情報を
表示できます。

1

[見る] を押す

2

情報を知りたいシーンを選び、
「メニュー」を押す

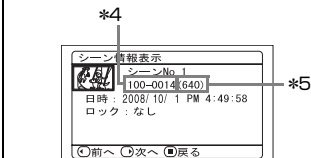
「シーン」▶「情報表示」▶ **[▶/II]** を
押す

そのシーンの詳しい情報が表示されます。

HDD / DVD をお使いのとき



カードをお使いのとき



3

- *1 DVD-RW (VF モード) / DVD-R /
+RW をお使いのときは、表示されま
せん。
 - *2 HDD をお使いのとき、サムネイルに
「」が表示されたシーンで表示
されます。
 - *3 他の機器で録画した DVD-RAM /
DVD-RW / DVD-R (ファイナライ
ズ済み) / +RW が入っているとき
には、表示されません。
 - *4 DCF 準拠でない場合、表示されません。
 - *5 静止画の水平方向の画素数を表します。
- ・**[▶▶]** / **[◀◀]** を押すと、情報表示画面
を表示させたまま、他のシーンの情報も
続けて確認できます。

4

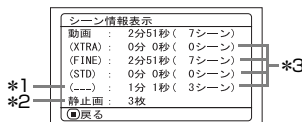
[■] で終了する

ディスクナビゲーション画面が表示されます。



- DCF (Design rule for Camera File system) とは、デジタルカメラの統一画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。本機は DCF 準拠です。
- 任意の 1 シーンのみ表示されているときは、[▶▶] を押すと次のシーンの情報が表示され、[◀◀] を押すと前のシーンの情報が表示されます。
- 複数のシーンを選ぶと、シーンの合計録画時間 (静止画の場合は合計枚数) が表示されます。

HDD / DVD をお使いのとき



カードをお使いのとき



- * 1 他の機器で録画したときなど、記録モードが不明の場合に表示されます。
- * 2 DVD-RAM に静止画を撮影できる日立製 DVD カメラを使って撮影された静止画がある DVD-RAM をお使いのときに、表示されます。
- * 3 他の機器で録画した DVD-RAM / DVD-RW / DVD-R (ファイナライズ済み) / +RW が入っているときには、表示されません。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (+RW) カード

HDD / DVD / カードを初期化する (初期化)

あるメディアを初期化すると、そのメディアに録画したシーンは、すべて削除されます。

録画したシーンをすべて削除したいときはこの機能を使うと、シーンを選んで削除するよりも早く、便利です。

ご注意

初期化して消えたデータは取り戻せません。よく確認して初期化してください。

1 初期化したいメディアを本機に入れる (HDD の初期化以外の場合)

2 [見る] を押し、[メニュー] を押す

3 「HDD 設定」 / 「DVD 設定」 / 「カード」▶「初期化」▶[▶/II] を押す
初期化を確認する画面が表示されます。

「はい」▶▶▶[H]を押す

- HDD/DVD-RAM/+RW/カードのときは、初期化が始まります。
- DVD-RW のときは、VF モードにするか VR モードにするかの選択画面が表示されます。P.34 をご覧ください。

※ ファイナライズされたDVD-RW (VR モード) の初期化で、VR モードを選択すると、ファイナライズは解除されません。記録データの無い、ファイナライズ済みのDVD-RW (VR モード) となり、録画もできます。

VF モードを選ぶと、ファイナライズは解除されます。

- 初期化しないときは、「いいえ」を選んで、▶▶▶[H]を押します。

ご注意

- 傷や汚れの多い DVD は初期化できない場合があります。このような DVD は使用できません。
- パソコンや他機で初期化した DVD やカードでは、本機で認識できない場合や録画・再生できない場合があります。
- 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機に挿入した DVD やカードを初期化した場合は、正常に初期化できず、DVD やカードが使用できなくなる場合があります。
- 初期化途中で電源が切れると正しく初期化できません。
正しく初期化できなかった DVD は使えなくなります。

HDD (RAM +RW/VR)

HDD / DVD をプロテクトする

誤った削除や初期化を防ぐために、プロテクトがかけられます。

ただし、プロテクトを設定すると、解除するまで録画もできなくなります。

1

プロテクトしたいメディアを本機に入れる (HDD のプロテクト以外の場合)

2

[見る] を押し、[メニュー] を押す

3

「HDD 設定」 / 「DVD 設定」▶▶▶「プロテクト」▶▶▶[H]を押す

プロテクトを確認する画面が表示されます。

4

「はい」▶▶▶[H]を押す

- プロテクトしないときは、「いいえ」を選んで、▶▶▶[H]を押します。
- プロテクトを解除するときは、同じ手順を繰り返し、「プロテクト解除」の確認画面で「はい」を選んでください。

ご注意

他の機器でプロテクト設定されたディスクは解除できない場合があります。プロテクト設定をした機器で解除してください。

HDD (RAM・RW(VR)・RW(VF)・R・RW) カード

メディアにあとどのくらい録画できるか確かめる (残量表示)

動画の場合は、動画画質別 (P.186) の録画可能時間を確認できます。

静止画の場合は、録画可能枚数を確認できます。

1 確認したいメディアを本機に入れる
(HDD の確認以外の場合)

2 [見る] を押し、[メニュー] を押す

3 「HDD 設定」 / 「DVD 設定」 / 「カード」 ▶ 「残量表示」 ▶ [▶/II] を押す
録画残量が表示されます。

4 確認が終わったら、[見る] を押すか、
[■] を 2 回押す
録画一時停止に戻ります。

RAM

動画または静止画別に表示する (表示分類)

本機以外の日立製 DVD カメラで撮影した静止画の保存されている DVD-RAM を本機に入れた場合、撮影したシーンを、動画・静止画に関係なく、撮影順にディスクナビゲーション画面に表示します。

この表示を動画だけや静止画だけの表示に切り替えることができます。本機では、HDD/DVD に静止画の撮影はできません。

1 [見る] を押してから、[メニュー] を押す

2 「その他設定」 ▶ 「表示分類」
▶ [▶/II] を押す

設定したい項目を選び、[▶/II] を押す

3	項目	説明
	全て	動画・静止画に関係なく、撮影順にすべて表示されます。
	動画	動画のみ撮影順に表示されます。
	静止画	静止画のみ撮影順に表示されます。



ディスクナビゲーション画面を終了させると、「表示分類」は「全て」に戻ります。

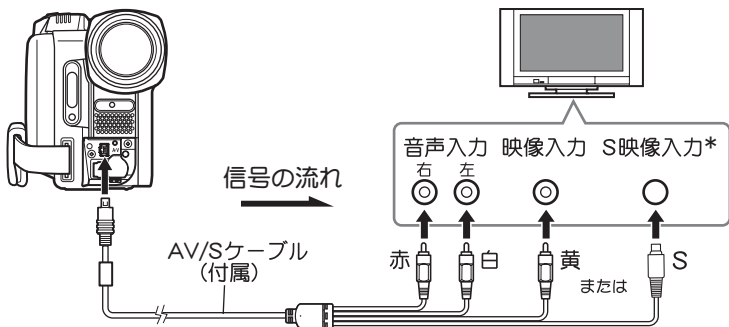
テレビにつないで見る

■ テレビと接続する

付属の AV/S ケーブルを使って本機とテレビを下の図のように接続します。

ご注意

- 接続する前に、必ずテレビの音量を下げてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。
- 端子はまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと、破損するおそれがあります。



* テレビに S 映像入力端子がある場合、つなぐことができます。

■ テレビで見る

- ① テレビの電源を入れ、テレビの入力を、本機に接続した入力端子に切り替えます。

テレビの入力の切り替えかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

- ② 本機の電源を入れます。

本機の液晶モニターと同じ映像がテレビに表示され、再生や撮影、編集を、テレビの大画面を見ながら楽しめます。



- 音量はテレビで調整してください。
- テレビを見ながら操作するときはリモコンを使うと便利です。ただし、当社製の映像機器をお使いの場合は、本機のリモコンで動作することがあるので、その場合はリモコンコードを変更してください。

で注意

- ワイドテレビ(画面比率16:9)をお使いで、テレビの設定がワイドモードに設定されているとき、ディスクナビゲーション画面を表示すると表示が画面に収まらない場合があります。テレビのワイドモードの設定を変更してください。(設定方法はテレビの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機のメニュー画面やディスクナビゲーション画面を、テレビ画面に表示させたままにしないでください。テレビ画面に焼き付けなどの損傷を与える場合があります。

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (RW) カード

■ 画面表示出力

本機をテレビにつないで見るときは、ビューファインダーや液晶モニターに表示される画面表示をテレビに表示しないようにできます。

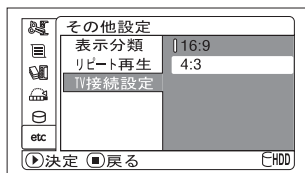
- ① [メニュー] を押す
- ② 「記録機能設定」▶「画面表示出力」▶▶[▶/II] を押す
- ③ 「オン」／「オフ」▶▶[▶/II] を押す

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (RW)

■ 4:3 表示のテレビでワイドモードの映像を再生する (TV 接続設定)

ワイドモードで記録したディスクの入った本機を、4:3 表示のみ対応のテレビにつないで再生すると、縦長の映像で表示されます。TV 接続設定で、「4:3」を設定すると、上下に黒帯がついた状態の、正常な映像を見られます。

- ① [見る] を押し、[メニュー] を押す
- ② 「その他設定」▶「TV 接続設定」
▶▶[▶/II] を押す
- ③ 「4:3」▶▶[▶/II] を押す



レコーダーやプレーヤーで見る

DVD-RW(VF モード)、DVD-R を DVD レコーダー／DVD プレーヤーなどで再生する前に

ファイナライズ

ファイナライズとは、DVD レコーダー／DVD プレーヤー／パソコンなどで再生できるように処理することです。

本機で記録／ダビングした DVD-RW (VF モード) / DVD-R は、本機でファイナライズすると、8cmDVD の再生に対応した機器 (DVD レコーダー／DVD プレーヤー) で再生できます。

ファイナライズは一度だけ行えば、他の機器 (DVD レコーダー／DVD プレーヤー) で繰り返し再生できます。

ファイナライズする前と後では、できることとできないことが以下のように変わります。

ファイナライズする前

できる
こと

- 録画や編集など本書に記載されている操作

できない
こと

- 互換性のない他の機器 (DVD レコーダー／DVD プレーヤー) での再生

ファイナライズした後

できる
こと

- 他の機器 (DVD レコーダー／DVD プレーヤー) で再生できます。
- 映像をパソコンに取り込めます。
- ファイナライズを解除した DVD-RW(VF モード) は、もう一度録画できます。

できない
こと

- 追加の録画や編集はできません。

DVD-RAM、DVD-RW(VRモード)をDVDレコーダーなどで再生する場合は

本機で録画／ダビングした DVD-RAM / DVD-RW(VRモード) は、8cm DVD-RAM / DVD-RW(VRモード)の再生に対応した機器(DVDレコーダー / DVD プレーヤー) で再生できます。

ファイナライズは必要ありません。

DVD-RW(VRモード)のファイナライズについて

- ファイナライズしなくてもDVD-RW(VRモード)に対応したDVDレコーダー / DVD プレーヤーで再生できます。
- DVD-RW(VRモード)の映像をパソコンに取り込む場合、本機でのファイナライズが必要です。ディスクナビゲーションからファイナライズしてください。
- ファイナライズしてもそのまま録画できます。
- 一度ファイナライズすると、ファイナライズを解除できません。初期化してもファイナライズは解除されません。

+RWのファイナライズについて

- +RWは本機から取り出すとき、パソコンに接続したときに自動的にファイナライズされます(オートファナライズ)。
- オートファイナライズされても、そのまま録画できます。
- オートファイナライズされた+RWは他の機器(DVDレコーダー / DVD プレーヤー)で再生できますが、DVDビデオメニューが表示されません。DVDビデオメニューを表示させたい場合は、ディスクナビゲーションからファイナライズしてください。
- ファイナライズを解除した+RWは、もう一度録画できます。

ファイナライズについての ご注意

- 本機で記録／ダビングした、ファイナライズしていないDVD-RW (VFモード)／DVD-Rは、DVDレコーダーやパソコンなどの記録できる機器に入れないでください。記録データが壊れることがあります。
- 本機で記録したDVDは、それぞれのDVDおよび記録モードに対応したレコーダー／プレーヤーなどでの再生に対応しておりますが、すべての再生を保証するものではありません。再生できない場合は、本機で再生してください。
- DVDレコーダー／プレーヤーで再生した場合、シーンの間で一瞬止まることがあります。
- 本機で記録／ダビングしたファイナライズしていないDVD-RW(VFモード)／DVD-Rに、本機以外のDVDカメラで記録やファイナライズをすると、記録データが壊れることがあります。
- パソコンなどで編集してファイナライズしたり、DVDレコーダーでファイナライズしたDVD-RW／DVD-R／+RWは、ご使用になる編集ソフトやDVDの記録状態によって、本機で再生できない場合があります。

- 本機以外の日立製ビデオカメラで記録したDVD-Rを本機に入れると、自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。本機で録画やファイナライズすることはできません。
- 他社製のレコーダーなどで記録したファイナライズされていないDVD-RW／DVD-Rを本機に入れないでください。DVDが使えなくなる場合があります。

・RW(VR)・RW(VF)・R・+RW

ファイナライズする

他の機器やパソコンで再生をするときにはファイナライズをしてください。DVD-RW (VFモード)／DVD-R／+RWを使用する場合、ファイナライズするとそれ以上録画できなくなります。

DVD-RAM はファイナライズは必要ありません。

1

本機にACアダプター／チャージャーを接続する(P.36)

バッテリーパックでは、ファイナライズできません。

2

[見る]を押してから、[メニュー]を押す

3

[DVD設定]▶[ファイナライズ]▶
▶/II▶

ファイナライズの確認画面が表示されます。

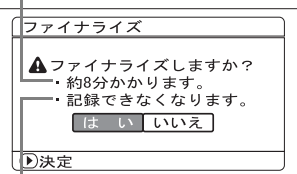
[はい] ▶ [▶/||]

ファイナライズ中のメッセージが表示され、DVDがファイナライズされます。

終了するとディスクナビゲーション画面が表示されます。

- ファイナライズされたDVDのディスクナビゲーション画面には「F」と表示されます。

*1



*2

- *1 録画時間により異なります。
*2 DVD-R をお使いのときに表示されます。

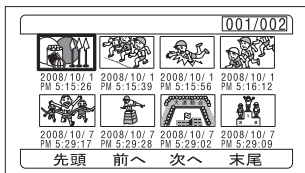
4



ファイナライズ済みのDVD



ファイナライズ済みのDVD



DVD プレーヤーで見たときの
DVD ビデオメニュー画面
(DVD-RW(VF モード) /
DVD-R / +RW)

ご注意

- すでにファイナライズされた DVDが入っている場合は、「ファイナライズ」のメニューは表示されません。
- ファイナライズにかかる時間は目安です。
- DVD-R の場合、録画時間が短いと、ファイナライズに時間がかかります。
- 一度ファイナライズした DVD-RW / +RW は、二度目以降のファイナライズが早く終わることがあります。

-RW(VF) +RW

ファイナライズを解除する

本機でファイナライズした DVD-RW (VF モード) / +RW のファイナライズを解除すると、もう一度記録できるようになります。

- | | |
|---|--|
| 1 | [見る]を押してから、[メニュー]
を押す |
| 2 | 「DVD 設定」▶「ファイナライズ解除」
▶[▶/II]を押す
ファイナライズ解除の確認画面が表示され
ます。 |
| 3 | 「はい」▶[▶/II]
ファイナライズ解除中のメッセージが表示
され、ファイナライズが解除されます。 |



DVD-RW (VR モード) は、ファイナライズ後、ファイナライズ解除をしないでそのまま記録できます。

DVD レコーダー／DVD プレーヤーで再生する

DVD-RAM／DVD-RW (VR モード)／+RW の場合

1

DVD レコーダー／DVD プレーヤー
に入れて再生する

- DVD レコーダー／DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVD-RW (VF モード)／DVD-R の場合

1

DVD-RW (VF モード)／DVD-R
をファイナライズする

- DVDレコーダー／DVDプレーヤーで見ると「ファイナライズ」が必要です。
- ファイナライズした DVD には、記録することができません。
- 本機で記録した DVD は、本機でファイナライズしてください (P.111)。

2

DVD レコーダー／DVD プレーヤー
に入れて再生する

- DVD レコーダー／DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 他の機器で再生するときは、本機のディスクナビゲーション表示とは異なります。
- 本機で記録した DVD-RW (VR モード) は 8cmDVD-RW (VR モード) に対応していない機器には入れないでください。DVD が取り出せなくなる場合があります。
- +RW の記録時間が短いと、DVD レコーダー／プレーヤーで再生できないことがあります。記録時間が短いときは、ディスクナビゲーション機能の「ファイナライズ」をすることをおすすめします。

他のビデオ機器を使って録画(ダビング)する

HDD (RAM) (RW(VR)) (RW(VF)) (R) (+RW) カード

ご注意

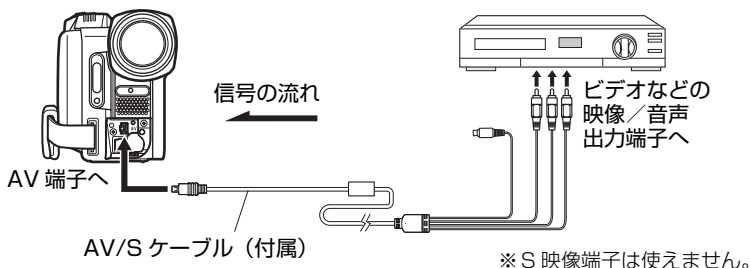
- ・本機と他の機器を接続するときは、両方とも電源を切って接続してください。
- ・途中で電池が切れないよう、必ず AC アダプター／チャージャーを使って、コンセントから電源をとってください。
- ・当社製の映像機器をお使いの場合は、本機のリモコンで動作することがあります。当社製の映像機器から映像を録画する場合は、映像機器のリモコンコードを変更してお使いください。

■ 他のビデオ機器から録画(ダビング)する (DZ-HS903)

(DZ-HS803 は他のビデオ機器から録画する機能はありません。)

他のビデオ機器から本機に録画(ダビング)することができます。

付属の AV/S 入力ケーブルを使って、本機と他のビデオ機器を下図のように接続します。



① 本機の入力切替を「外部」にする

P.72 の「入力切替」を参照して、切り替えてください。

② 接続した機器の電源を入れ、再生を開始する

本機の液晶モニターに映像が映ります。

③ 本機の【録画】を押す

本機で録画が始まります。

- ・録画するときの操作方法は、「動画を撮る」(P.38) と同じです。
- ・静止画を撮影する場合は「フォト / 選択」を押してください。
- ・本機の電源を切ると、「入力切替」の設定は「カメラ」に戻ります。

本機から取り出した DVD-RW (VF モード)、DVD-R を DVD プレーヤーなどで再生する前に → 「ファイナライズ」してください。(P.109)



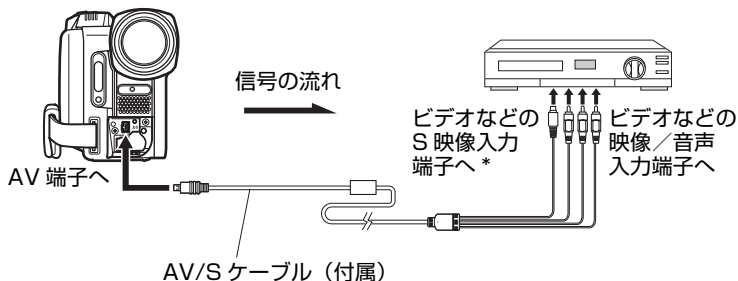
カメラの映像に重なっている時刻などの表示を消すには、カメラ本体の〔画面表示〕を数回押します。

ご注意

- 録画した内容は、カメラで撮影した映像を再生するときと同様に再生することができます。
- 個人でビデオカメラに撮影した映像以外は、著作権保護のための複製禁止信号（コピーガード信号）により、録画が禁止されている場合があります。本機では「記録できません」と表示され、録画できません。
市販の DVD ビデオソフトや有料放送などが複製禁止信号が含まれた代表的な映像です。
- 個人でビデオカメラに撮影した映像など複製禁止信号のない映像であっても、信号の状態によっては正常に録画できないことがあります。
- 録画した映像をパソコンで再生した場合、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- 記録中にテレビなどのチャンネルを切り替えたり、ビデオセクターなどで信号を切り替えたりして入力信号が途切れると、正常に録画できません。
- CPRM 対応の DVD を使っても、本機で「1 回だけコピー可能」の映像を記録することはできません。

■ 他のビデオ機器に録画（ダビング）する

本機で再生して他のビデオ機器に録画（ダビング）することができます。
付属の AV/S ケーブルを使って、本機と他のビデオ機器を下图のように接続します。



* 接続する機器に S 映像入力端子がある場合、つなぐことができます。

- ① [見る] を押す
 - ② 再生したいシーンを選ぶ
 - ③ 接続したビデオ機器の外部入力を、本機からの入力に切り替える
 - ④ 本機の再生ボタンと接続した機器の録画ボタンを押す
- 本機で再生が始まり、接続した機器に録画（ダビング）されます。



- スピーカーから音声が出ます。
- ディスクナビゲーション機能のプレイリストで、あらかじめ本機で録画したシーンの中からダビングしたいシーンを集めたリストを作成すると便利です (P.90)。

HDD・RAM・RW(VR)・RW(VF)・R・+RW カード

同梱のソフトウェアについて

本機に同梱の USB ケーブルとソフトウェア CD-ROM、または市販のソフトウェアをお使いになると、本機で撮影した動画や静止画をパソコンでご利用になります。

同梱の CD-ROM には Windows 用と Macintosh 用に以下のソフトウェアがそれぞれ含まれています。

● Windows 用

ImageMixer 3

本機で撮影した映像をパソコンに取り込みます。

パソコンに取り込んだ映像の再生やカット編集、タイトルやBGMの追加、画像の切り替え効果をつける等の動画編集ができます。

本機で撮影した映像をパソコンに取り込んで、DVD-Video(DVD-RW/DVD-R) や DVD-VR(DVD-RAM/DVD-RW) を作成できます。

● Macintosh 用

ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM

本機で撮影した映像を MPEG ファイルとして Macintosh に取り込みます。

パソコンに取り込んだ映像の再生や、カット等の動画編集ができます。

本機で撮影した映像を Macintosh に取り込んで、DVD-Video(DVD-RW/DVD-R) を作成できます。

本機に同梱のソフトウェアでできること

OS		HDD	DVD	カード
Windows	パソコンへの取り込み	○	○	○
	パソコンからの書き出し	—	○	—*1
Macintosh	パソコンへの取り込み	○	○	○
	パソコンからの書き出し	—	—*2	—*1

*1 エクスプローラ／ Finder を使用して、カードへの書き出しができます。

*2 DVD-VR (DVD-RAM / DVD-RW (VR モード)) の作成はできません。

【ご注意】

- 本機で撮影した DVD-RW/DVD-R / +RW をパソコンでご使用になる場合、本機でのファイナライズが必要です。
- Macintosh 用のソフトウェアでは DVD-VR(DVD-RAM/DVD-RW) の作成はできません。
- ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM で Macintosh に取り込んだ MPEG ファイルは、音声形式が AC3 オーディオのため、QuickTime MPEG-2 再生コンポーネントを導入している場合でも QuickTime では音声は再生されず、映像のみ再生されます。取り込んだ MPEG ファイルの再生には、ImageMixer 3 Mac Edition をお使いください。
- 本機に同梱のソフトウェアは CPRM や CSS など著作権保護された DVD を扱うことはできません。
- 本機に同梱のソフトウェアでは、本機の HDD、+RW への書き込みはできません。

同梱のソフトウェアは日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語（簡体字）に対応しています。

本書では、Windows 版は Windows XP、Macintosh 版は Mac OS X 10.4 の画面で説明しています。

ソフトウェア CD-ROM を開封する前に、P.193 の「使用許諾契約書」をお読みください。

使用できるパソコンの条件

● Windows をお使いの場合

OS	Windows® 2000 Professional SP3 以降／Windows® XP Home Edition ／ Windows® XP Professional ／ Windows Vista® ※ 64bit 版は除きます。
コンピュータ	IBM® PC/AT® 互換機（DOS/V 機）
CPU	Intel® Pentium® III 800MHz 以上（Pentium® 4 1.7GHz 以上推奨） ※ CPU をオーバークロックなどでご使用の場合は、動作保証外になります。
メモリ	● Windows® 2000 Professional の場合：128MB 以上（256MB 以上を推奨） ● Windows® XP Home Edition / Professional Edition の場合： 256MB 以上（512MB 以上を推奨） ● Windows Vista® の場合：512MB 以上（1GB 以上を推奨）
HDD	● インストールに必要なディスク容量：約 300MB 以上 ● ディスク作成時には、作成するディスクの約 3 倍の空き容量が必要です。
USB	本製品のために、USB 1.1 または 2.0 の空きポートが一つ以上必要です。 （USB ハブ経由では動作しない場合があります。）
その他	● 1024 × 768 ピクセル、16bit（High color）以上で表示可能なディスプレイ ● DirectX® 9.0c 以降に対応したビデオデバイス ● 音声出力デバイス

● Macintosh をお使いの場合

OS	Mac OS X v10.3.9、v10.4、v10.5 ※ Mac OS X Server には対応していません。
CPU	PowerPC G4 1GHz 以上、PowerPC G5、Intel Core
メモリ	256MB 以上 (512MB 以上を推奨)
HDD	● インストールに必要なディスク容量：約 50MB ● DVD 作成時には、作成するディスクの約 2 倍以上の空き容量が必要です。
グラフィック	1024 × 768 ピクセル以上 (フルカラー推奨)
USB	本製品のために、USB 1.1 または 2.0 の空きポートが一つ以上必要です。 (USB ハブ経由では動作しない場合があります。)
対応ドライブ	Macintosh に標準搭載されている SuperDrive

Macintosh に搭載されているスロットイン式のドライブは、8cmDVD に対応していません (2007 年 12 月現在)。誤って挿入した場合、DVD が取り出せなくなりますので、絶対に 8cmDVD を挿入しないでください。

ご注意

- ソフトウェアをインストールする場合、管理者権限が必要です。
- 以下の場合は動作保証しません。
 - USB ハブを経由して接続した場合
 - 自作パソコンで使用した場合
- 使用できるパソコンの条件を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組み合わせにより、動作に不具合を生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。

■ ソフトウェアのインストール

● Windows をお使いの場合

1

パソコンの電源を入れる

パソコンを使用している場合には、使用しているソフトウェアをすべて終了してください。

2

同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる

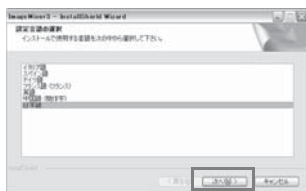
インストーラーが自動的に起動し、「設定言語の選択」画面が自動的に表示されます。

「設定言語の選択」画面が表示されない場合は、Windows のマイコンピュータまたはエクスプローラで CD-ROM が入っているドライブを開き、その中の setup.exe アイコンをダブルクリックしてください（ご使用の PC によっては、「exe」の拡張子が表示されない場合があります）。

3

インストールする言語を選択する

ImageMixer3 でご使用になる言語を選択し、「次へ」をクリックしてください。



クリック

4

「ImageMixer 3」のインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックする。



クリック

5

使用許諾契約を確認する

使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



クリック

6

インストール先を選択する

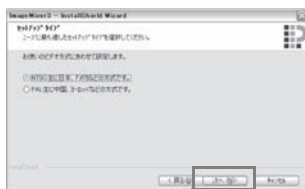
インストール先に変更がなければ、「次へ」をクリックしてください。インストール先に変更がある場合には、「変更」をクリックし、インストール先を指定してから「次へ」をクリックしてください。



クリック

ビデオ方式を選択する

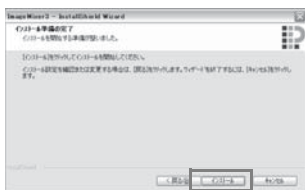
ビデオ方式の設定画面が表示されるので、「NTSC」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

7

クリック

インストールを実行する

インストールの準備が完了しましたので、「インストール」をクリックしてインストールを実行してください。

8

クリック

インストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されるので、「完了」をクリックしてパソコンを再起動する。再起動後、パソコンからCD-ROMを取り出してください。

以上でソフトウェアのインストールは完了です。

9

クリック

【注意】

ソフトウェアのインストール完了後、お使いのパソコンによっては、DirectX®のインストールが始まる場合があります。その場合は、画面表示にしたがってインストールしてください。

● Macintosh をお使いの場合

1

パソコンの電源を入れ、同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる

2

デスクトップに表示される「DVDCAM5000」アイコンをダブルクリックする

3

画面に表示される ImageMixer 3 for DVDCAM.pkg のアイコンをダブルクリックする



インストーラが起動します。「続ける」をクリックすると、動作環境や制限事項が表示されます。よくお読みいただき、さらに「続ける」をクリックしてください。

4

使用許諾契約を確認する

使用許諾契約画面が表示されます。インストール時に使用する言語を設定してください。その後、使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「続ける」をクリックしてください。使用許諾契約に同意いただける場合には、「同意します」をクリックしてください。

※ 同梱の Macintosh 用ソフトウェアは、OS で使用している言語が自動的にインストールされます。

インストール時の言語の設定



クリック

5

インストール先とインストールの種類を選択する

画面の指示に従って操作してください。インストールが開始されます。

6

インストールが終了すると、終了画面が表示されるので「閉じる」をクリックする

インストール画面が閉じてインストールが完了します。
CD-ROM を取り出してください。

ご注意

ソフトウェアをインストールする場合、管理者権限が必要です。

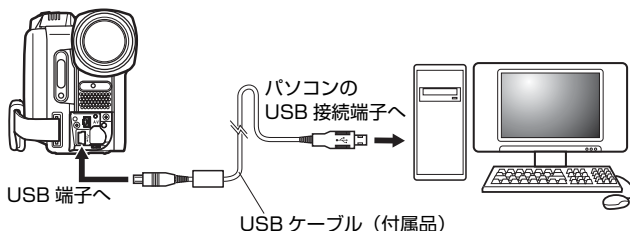
■ 映像をパソコンで取り込む前の準備

本機で撮影した DVD-RW / DVD-R をパソコンに取り込む前に、ファイナライズを行ってください (P.111)。(HDD や DVD-RAM、SD メモリーカードはファイナライズの必要はありません。)

■ カメラをパソコンにつないで認識させる

USB ケーブルでパソコンと接続する

付属の USB ケーブルを使って、本機とパソコンを下の図のように接続します。



ご注意

- パソコンと接続する場合はカメラの電源を入れてください。
- USB ケーブルから本機へは電源が供給されません。電源は AC アダプター／チャージャーをお使いください。
- USBケーブルとACアダプター／チャージャー以外のケーブルは外してください。
- 本機とパソコンを接続すると、アクセス／PC 接続ランプが緑色に点灯します。また、HDD、DVD にアクセスしている間は、オレンジ色に点灯または点滅します。SD メモリーカードにアクセスしている間はカードアクセスランプが赤色に点灯または点滅します。
- 本機をパソコンに接続している間は、液晶モニターには何も表示されません。
- ファイナライズしていない+RW を本機に入れたままパソコンに接続すると、オートファイナライズが実行されます。
- パソコンのUSB 1.1 規格の端子に接続した場合、USB2.0規格の端子と比べ滑らかな再生ができなかったり、処理に時間がかかることがあります。
- 「パソコンと接続するときの注意事項」(P.141) をお読みください。

本機は電源スイッチを「HDD」に合わせた場合の HDD モード、「DVD」に合わせた場合の DVD モード、「SD」に合わせた場合のカードモードという3つのモードがあります。

※ パソコン接続中のモード切替はできません。USB ケーブルをパソコンから取り外してから (P.126)、電源スイッチを切替えてください。

本機とパソコンを USB ケーブルで接続すると、自動的にパソコンから本機が認識されます。認識後、パソコンの再起動を要求されることがあります。そのときは指示に従い、再起動してください。

本機のパソコンでの表示について

本機の電源スイッチを「HDD」、または「DVD」でパソコンに接続した場合、ディスクドライブとして認識されます。

本機の電源スイッチを「SD」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識されます。



アイコンの形状などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります。

ご注意

HDD や DVD に記録されているファイルは、エクスプローラで直接取り扱わないでください。お客様の貴重な映像が失われ、メディアが壊れて使用できなくなる可能性があります。同梱のソフトウェアをお使いください。

静止画の取り扱いについて

本機でSDメモリーカードに記録した静止画は、JPEG 方式で記録されており、JPEG 画像に対応したアプリケーションでお楽しみいただけます。パソコンへの取り込み方法は次の通りです。

静止画が記録されたSDメモリーカードを本機に挿入し、本機をパソコンに接続してください。上記のようにリムーバブルドライブのアイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックするとカードの内容が表示されます。

カードの中にある「DCIM」→「100*HPNX1」フォルダ内に本機で

記録された静止画が記録されていますので、ドラッグ & ドロップで取り込むことができます。

* 他の DCF 対応機器で記録されている場合は、数字が変更になることがあります。

本機とパソコン接続中にできないこと

- ・ 本機の操作ボタンを使ったカメラの操作
- ・ 本機の「ディスク取出し」ボタンでの DVD の取り出し
- ・ 電源スイッチを使って電源を切る
- ・ HDD/DVD に記録されているファイルのエクスプローラ／Finder からの操作（同梱のソフトウェアをお使いください。）
- ・ HDD、DVD、カードへの同時アクセス

■ パソコン接続中のメディアの取り出しかた

本機の電源を切ったり接続を外したりしなくても、DVD や SD メモリーカードを入れ替えることができます。

DVD を取り出す場合

● Windows をお使いの場合

Windows のエクスプローラまたはマイコンピュータで、本機のドライブアイコンを選ぶ

→ マウスの右ボタンをクリックする

→ [取り出し] を選ぶ

→ 本機のDVD挿入部のふたが開きます。

別のDVDを入れて閉じると、DVDの認識をします。

● Macintosh をお使いの場合

デスクトップ上に表示されている本機のドライブアイコンをゴミ箱に入れると、本機の DVD 挿入部のふたが開きます。別の DVD を入れてふたを閉じると、DVD の認識をします。

SD メモリーカードを取り出す場合

● Windows をお使いの場合

SD メモリーカードがパソコンのソフトウェアからアクセスされていないことを確認し、さらに本機のカードアクセスランプ (P.15) が点灯または点滅していないことを確認して、SD メモリーカードを本機より取り出します。

SD メモリーカードにパソコンからファイルの書き込みを行なったあとは、しばらくの間、カードアクセスランプが点灯または点滅していることがありますので、カードアクセスランプが消灯するまでお待ちください。最大数分間かかる場合があります。

● Macintosh をお使いの場合

デスクトップに表示されているリムーバブルドライブアイコンをドラッグしてゴミ箱へ入れてください。デスクトップからアイコン表示が消されたことを確認したあと、SD カードを本機のカード挿入口から取り出してください。

■ パソコン内蔵の DVD ドライブで DVD を使用する

使用する DVD に合ったドライブの付いたパソコンとソフトウェアをお持ちの場合は、DVD を直接パソコンのドライブに入れて使用することができます。

DVD ドライブが対応する DVD は、DVD ドライブによって異なります。それぞれの DVD に対応した DVD ドライブを使用してください。

ファイナライズした DVD-RW / DVD-R / +RW は、DVD-ROM ドライブで使用できます (読み込み専用)。

Macintosh に搭載されているスロットイン式のドライブは、8cmDVD に対応していません。誤って挿入した場合、DVD が取り出せなくなりますので、絶対に 8cmDVD を挿入しないでください。

ご注意

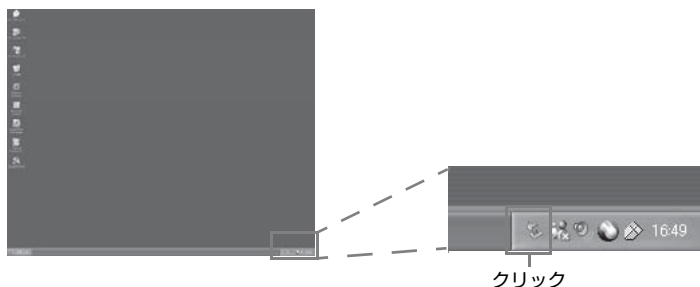
- パソコンで編集した映像を新しい DVD-RW に書き込む場合は、DVD を本機で初期化しないでください。
- 縦置きやスロットインタイプのパソコン用ドライブの中には 8cm DVD が使用できないものがあります。
- 8cm CD を 12cm の直径に変換するアダプタ (8cm CD 用) は 8cm DVD-RAM / 8cm DVD-RW / 8cm DVD-R / 8cm +RW には使用できません。
- 本機で撮影した DVD-RW / DVD-R / +RW をパソコンで利用する場合は、DVD を本機でファイナライズしてください (P.111)。
- ご使用の DVD-ROM ドライブによっては、本機で記録した DVD-RW / DVD-R / +RW が読み込めない場合があります。

■ PC 接続の終了 (USB ケーブルの取り外し)・電源スイッチを切り替える前に

● Windows をお使いの場合

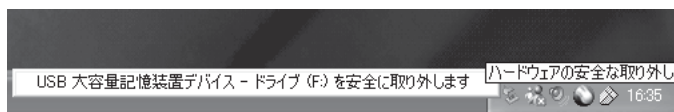
USB ケーブルをパソコンから抜く場合は、アプリケーションを終了し、Windows 画面の右下のタスクトレイから「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックする

1



「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択する
ドライブ名 (F: など) はお使いのパソコンにより異なります。

2



3

「ハードウェアの取り外し」が可能である旨のメッセージが表示された後、USB ケーブルを抜く

「ハードウェアの取り外し」がエラーになってしまう場合は、Windows® を一旦終了してから取り外してください。Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、Windows® 2000 SP3 以降をインストールすると解決される場合があります。

Windows® 2000 SP3 の入手方法につきましては、お使いのパソコンの製造元、またはマイクロソフト社にお問い合わせください。

● Macintosh をお使いの場合

カメラをパソコンから取り外す場合には、カメラのドライブアイコン (HDD、DVD またはカード) を選択し、「ファイル」メニューから「取り出し」を選択して取り外してください。

ソフトウェアの使い方

Macintoshをお使いの場合はP.135をご覧ください。

● Windowsをお使いの場合

ImageMixer 3 の使い方

ImageMixer 3 は、本機で撮影した映像をパソコンに取り込み、その映像ファイルの編集や、映像ファイルからDVD-Video や DVD-VR の作成ができます。

ここでは、ImageMixer 3 の基本的な操作を説明します。

ImageMixer 3 の詳細な取扱説明書は、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書でのご提供となります。

ImageMixer 3 起動中に「ヘルプ(H)」→「ImageMixer ヘルプ (H) F1」をクリックすると表示されます。映像ファイルの編集方法の説明などは、電子取扱説明書をご覧ください。

ImageMixer 3 を起動するには、インストール時にデスクトップに作成される ImageMixer 3 のショートカットをダブルクリックしてください。

※ デスクトップに ImageMixer 3 のショートカットがない場合には、[スタート]→[プログラム]または[すべてのプログラム]→[PIXELA]→[ImageMixer 3]→[ImageMixer 3]を選択してください。

ご注意

+RW に記録した映像の場合、ImageMixer 3 では撮影日時の表示はされません。

HDD / DVD に記録した映像をパソコンで見る

※ 本機で記録した DVD-RW/DVD-R/+RW は本機でのファイナライズが必要です (P.111)。

1 本機の電源を入れ、本機とパソコンを USB 接続する

- DVD の映像を見たいときは、再生したい映像の記録された DVD を本機に入れてから、パソコンに USB 接続してください。

2 ImageMixer 3 を起動する

ImageMixer 3 が起動すると、ランチャーが表示されます。ここで、「映像を見る・読み込む」をクリックします。



クリック

日立 DVD カムを選択する

画面左部に表示されている「日立 DVD カム」をクリックします。
HDD (DVD を選択しているときは DVD) に記録されている映像が表示されます。

クリック



再生する映像を選択

クリック

3

「取り出し」ボタン

再生したい映像のサムネイルをダブルクリックすると、別画面で映像の再生が始まります。

再生中の画面をダブルクリックすると、全画面で再生します。全画面表示を終了する場合には、画面をダブルクリックしてください。

別の DVD の映像を再生するときは、再生を停止している状態で、ライブラリ画面左下部にある「取り出し」ボタンをクリックしてください。本機の DVD 挿入部のふたが開くので、他の DVD が入っている場合は DVD を取り出し、別の DVD を入れてください。

HDD / DVD に記録した映像をパソコンに保存する

ImageMixer 3 では、HDD/DVD に記録された動画ファイルを MPEG ファイルとして取り込みます。また、カードに記録された静止画ファイルは、JPEG ファイルとして取り込みます。パソコンに取り込んだ映像ファイルは、ImageMixer3 で DVD-Video や DVD-VR を作成するときにお使いになります。

本機の電源を入れ、本機とパソコンを USB 接続する

- DVD の映像を保存したいときは、保存したい映像が記録された DVD を本機に入れてから、パソコンに USB 接続してください。

1

本機で記録した DVD-RW/DVD-R/+RW をパソコンで読み込む場合には、本機でのファイナライズが必要になります (P.111)。本機をパソコンに USB 接続する前に、必ずファイナライズしてください。

ImageMixer 3 を起動する

ImageMixer 3 が起動すると、ランチャーが表示されます。ここで、「映像を見る・読み込む」をクリックします。

2



クリック

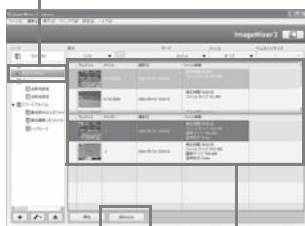
日立 DVD カムを選択する

画面左部に表示されている「日立 DVD カム」をクリックします。

HDD (DVD を選択しているときは DVD) に記録されている映像が表示されます。

クリック

3



再生する映像を選択
クリック

保存したいチャプターを選択し、 「読み込み」をクリックする

画面に表示された映像のタイトルを選ぶと、画面下部にタイトル中に含まれるチャプターが表示されます。

4

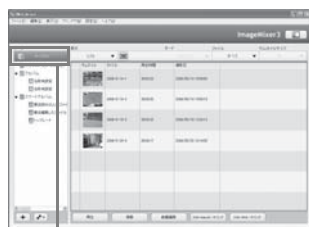
パソコンに保存したいチャプターを選択してから、画面下部の「読み込み」をクリックします。
パソコンへの映像の取り込みが始まります。



- 複数のチャプターを一度に複数選択する場合には、Ctrl キーを押しながらチャプターをクリックしてください。
- 映像ファイルの保存先は、通常、「マイドキュメント (または My Documents)」フォルダが選択されています。保存先を変更するには、画面上部の「設定」→「環境設定」から環境設定画面を表示し、「参照…」をクリックして保存先を選択してください。
- 取り込んだ映像ファイル名は、通常、「タイトル名 - チャプター番号 .mpg」と付けられます。タイトル名がない場合は、「Chapter- チャプター番号 .mpg」となります。

パソコンに取り込んだ映像を確認する

5



クリック

ImageMixer 3 の画面左上の「ライブラリ」をクリックすると、パソコンに取り込んだ映像ファイルが一覧表示されます。ImageMixer 3 は、このライブラリに表示されている映像の再生、編集ができ、また、映像を使って DVD レコーダー / プレーヤーでお楽しみいただける DVD の作成ができます。



画面左部の「スマートアルバム」内の「最近読み込んだファイル」をクリックすると、最近読み込んだファイルだけが自動的に表示されます。また、スマートアルバムでは、タイトルなどの条件を指定すると、映像ファイルを自動的にまとめて表示できます。スマートアルバムの詳細な使用方法については、電子取扱説明書の「映像を見る・読み込む（ライブラリ）」→「読み込んだ映像を整理する」を参照してください。

パソコンに保存した映像から DVD-RW / DVD-R を作成する

本機で記録した映像をパソコンに保存すると、DVD レコーダー / プレーヤーでお楽しみいただける DVD が作成できます。

ここでは、ImageMixer 3 でパソコンに保存した映像から DVD-RW/DVD-R (DVD-Video) を作成する手順について説明します。HDD/DVD に記録した映像をパソコンに保存する手順は、「HDD / DVD に記録した映像をパソコンに保存する」(P.128) を参照してください。

ImageMixer 3 を起動する

ImageMixer 3 を起動すると、ランチャーが表示されます。ここで、「映像を見る・読み込む」をクリックします。

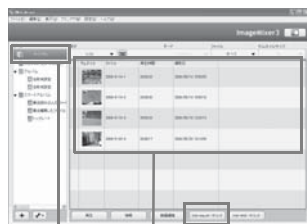
1



クリック

2 「ライブラリ」を表示する

画面左部に表示されている「ライブラリ」をクリックしてください。
パソコンに保存した映像が一覧表示されます。



クリック

クリック

映像を選択

3 DVD-Video にしたい映像を選択し、「DVD-Video オーサリング」をクリックする

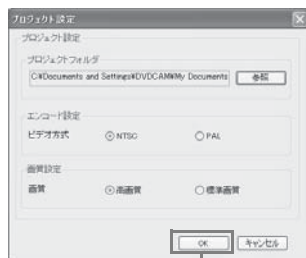
DVD にしたい映像を選択し、その後、画面下部の「DVD-Video オーサリング」をクリックします。
選択したファイルだけか、すべてのファイルを使用するかを選択画面が表示されるので、選択後に「OK」ボタンをクリックします。



クリック

4 プロジェクトを設定する

編集内容の保存場所や画質などを設定できるプロジェクト設定画面が表示されます。作成する DVD-Video を日本国内で再生する場合には、ビデオ方式は「NTSC」を必ず選択してください。「PAL」は欧州などで使用されている映像方式のため、日本国内では再生できません。
プロジェクト設定後に「OK」ボタンをクリックしてください。



クリック

5 DVD に書き込む

手順 3 で選択した映像ファイルが自動的に登録されて、DVD-Video の書き込み設定画面が表示されます。この画面で「プレビュー」をクリックすると、作成される DVD-Video の内容を確認できます。

内容確認後に DVD-Video メニューの編集や、映像ファイルの登録解除をする場合には、画面上部の「オーサリング」タブをクリックしてください。DVD-Video メニューの編集などができます。
DVD-Video メニューの編集の詳細については、電子取扱説明書の「DVD を作る (オーサリング)」→「DVD のメニュー画面を編集する」を参照してください。

「プレビュー」での内容確認後、「書き込み設定」をクリックして「ディスクを作成」にチェックを入れ、ディスク書き込みドライブの選択などの書き込み設定を行ってください。

設定終了後、ディスクドライブに何も記録していない DVD-RW/DVD-R をセットしてください。

「書き込み」ボタンをクリックすると、書き込み速度などの設定確認画面が表示されます。設定確認後に、「OK」をクリックしてください。書き込みが開始されます。



クリック

書き込みが終了すると、ディスクドライブが開きますので、DVD を取り出してください。これでオリジナル DVD の完成です。



- 書き込みドライブに、書き込み済みの DVD-RW をセットすると「ディスクの内容を消去しますか？」というダイアログが表示されます。

DVD の内容を消去すると、DVD 上のデータはすべて消去されますので、DVD の内容を十分確認してください。

ここで「はい」を選択すると、DVD の消去方法の選択画面が表示されますので、確認後、[OK] ボタンをクリックしてください。

DVD の内容を消去したあとに、本機の DVD 挿入部のふたが開きます。メッセージに従ってセットしておってください。

- DVD-Video 規格に準拠しない映像ファイルが含まれる場合には、映像が再エンコードされるため、画質が劣化します。
- 「ファイル」→「プロジェクトを保存する」を選択して、途中の作業状態をプロジェクトファイルとして保存できます。保存したプロジェクトファイルを読み込んで、保存した状態から作業を再開できます。

パソコンに保存した映像から DVD-RAM/DVD-RW を作成 する

本機で記録した映像をパソコンに保存すると、その映像を使って DVD レコーダー / プレーヤーでお楽しみいただける DVD-VR を作成できます。DVD 作成後にも、DVD に映像の追加ができます。

ここでは、ImageMixer 3 でパソコンに保存した映像から DVD-RAM / DVD-RW (DVD-VR) を作成する手順について説明します。HDD、DVD に記録した映像をパソコンに保存する手順は、「HDD / DVD に記録した映像をパソコンに保存する」(P.128)を参照してください。

ImageMixer 3 を起動する

ImageMixer 3 を起動すると、ランチャーが表示されます。ここで、「映像を見る・読み込む」をクリックします。

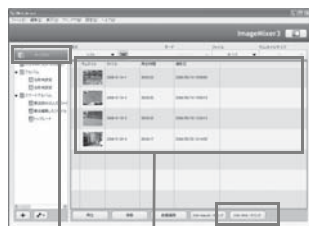


クリック

「ライブラリ」を表示する

画面左部に表示されている「ライブラリ」をクリックします。パソコンに保存した映像が一覧表示されます。

2



クリック

映像を選択

クリック

DVD-VR にしたい映像を選択し、 「DVD-VR オーサリング」をクリックする

DVD-VR にしたい映像を選択し、その後、画面下部の「DVD-VR オーサリング」をクリックすると、選択したファイルだけか、すべてのファイルを使用するかの選択画面が表示されますので、選択後に「OK」ボタンをクリックします。

3



クリック

4

プロジェクトを設定する

その後、編集内容の保存場所を設定できるプロジェクト設定画面が表示されます。作成する DVD-VR を日本国内で再生する場合には、ビデオ方式は「NTSC」を必ず選択してください。「PAL」は欧州などで使用されている映像方式のため、日本国内では再生できません。プロジェクト設定後に「OK」ボタンをクリックします。



クリック

5

DVD に書き込む

手順 3 で選択した映像ファイルが自動的に登録されて、DVD-VR の書き込み設定画面が表示されます。

次に「デバイス選択ダイアログ」が表示されます。ドライブに書き込み可能な DVD-RAM/DVD-RW (VR モード) をセットし、ドライブを選択後、「OK」をクリックします。



クリック

書き込みドライブを設定すると、ドライブにセットされている DVD の空き容量などの情報が表示されます。

「ディスクの内容を消去して書き込む」にチェックを入れた場合、DVD 上のデータはすべて消去されますので、DVD の内容を十分確認してください。「DVD の内容を消去して書き込む」にチェックを入れない場合には、映像の内容が追記されるため、ディスク上に映像ライブラリを作成できます。

「書き込み」ボタンをクリックすると、書き込み設定画面が表示されます。設定確認後に、「OK」をクリックします。書き込みが開始されます。



クリック

書き込みが終了すると、ディスクドライブが開きます。DVD を取り出してください。

映像の追加、編集をする場合には、画面上部の「プログラム編集」タブをクリックします。映像ファイルの追加やトリミング編集などができます。

DVD-VR のプログラム編集の詳細については、電子取扱説明書の「DVD を作る (オーサリング)」→「書き込む映像を編集する (プログラム編集)」を参照してください。



「ファイル」→「プロジェクトを保存する」を選択して、途中の作業状態をプロジェクトファイルとして保存できます。保存したプロジェクトファイルを読み込むと、保存した状態から作業を再開できます。

● Macintoshをお使いの場合

ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM の使い方

ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM は、本機で撮影した映像を Macintosh に取り込むことができます。また、取り込んだ映像を使って DVD-Video の作成ができます。

ここでは、ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM の基本的な操作を説明します。

ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM の詳細な取扱説明書は、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書でのご提供となります。各ソフトウェアの詳細な使用方法是、電子取扱説明書をご覧ください。

ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM 起動中に「ヘルプ」

→「ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM ヘルプ」をクリックしてください。

ImageMixer 3 Mac Edition for DVDCAM を起動する場合は、Macintosh HD（起動ディスク）→「アプリケーション」（または「Applications」）→「ImageMixer for DVDCAM」内にある「ImageMixer 3 for DVDCAM」のアイコンをダブルクリックしてください。

ご注意

- 本機に同梱のソフトウェアは DVD-VR (DVD-RAM / DVD-RW) の作成はできません。
- DVD-RW (VF モード) / DVD-R / +RW に記録した映像の場合、ImageMixer 3 Mac Edition では撮影日時が表示されません。

HDD / DVD に記録した映像をパソコンで見る

※ 本機で記録した DVD-RW/DVD-R / +RW を再生するには、本機でのファイナライズが必要です (P.111)。

1

本機の電源を入れ、本機と Macintosh を USB 接続する

- DVD の映像を見たいときは、再生したい映像の記録された DVD を本機に入れてから、パソコンに USB 接続してください。

2

ImageMixer 3 Mac Edition を起動する

3

日立 DVD カムを選択する

画面左部に表示されている「日立 DVD カム」をクリックします。
HDD (DVD を選択しているときは DVD) に記録されている映像が表示されます。

再生したい映像を選択し、「再生」をクリックする

再生したい映像をクリックし、その後、画面下部の「再生」をクリックすると、別画面で映像の再生が始まります。

クリック

4

クリック 再生したい映像を選択



カメラや、パソコンに DVD を入れると、DVD プレーヤーが自動で起動するようになっている場合があります。DVD プレーヤーが自動で起動しないようにするには、[アップル] メニューから、[システム環境設定] → [CD と DVD] → [ビデオ DVD をセットしたときの動作] で [無視] を選択してください。

ご注意

- 本機を Macintosh につないで DVD プレーヤーなどで再生する場合、ドライブのリージョンコード設定画面が表示されます。お住まいの地域に合ったリージョンコードを設定してください (日本ではリージョンコード 2 になります)。
- DVD の記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。

HDD / DVD に記録した映像をパソコンに取り込む

ImageMixer 3 Mac Edition では、HDD、DVD に記録された動画ファイルを MPEG ファイルとしてパソコンに取り込みます。取り込んだ映像ファイルは、ImageMixer 3 で再生、映像の結合やカット編集、さらに DVD-Video 作成をお楽しみいただけます。

1

本機の電源を入れ、本機と Macintosh を USB 接続する

- DVD 映像を取り込みたいときは、取り込みたい映像が記録された DVD を本機に入れてから、Macintosh に USB 接続してください。
- 本機で記録した DVD-RW/DVD-R/+RW をパソコンで読み込む場合には、本機でのファイナライズが必要になります (P.111)。本機をパソコンに USB 接続する前に、必ずファイナライズしてください。

2

ImageMixer 3 Mac Edition を起動する

3

日立 DVD カムを選択する

画面左部に表示されている「日立 DVD カム」をクリックします。
HDD (DVD を選択しているときは DVD) に記録されている映像が表示されます。

取り込みたい映像を選択し、「読み込み」をクリックする

取り込みたい映像をクリックし、その後、画面下部の「読み込み」をクリックすると、映像の取り込みが始まります。

クリック



4

取り込みたい映像を選択 クリック

ImageMixer 3 Mac Edition でパソコンに取り込んだ映像ファイルは、ImageMixer 3 Mac Edition の画面左上の「ライブラリ」をクリックすると、図のように一覧表示されます。

このライブラリの画面で映像を選択し、画面下部の再生ボタンをクリックすると、映像の再生ができます。また、動画編集アイコンをクリックすると、映像のカット編集も可能です。

詳細な使用方法については、ImageMixer 3 Mac Edition の電子取扱説明書をご覧ください (P.135)。



画面左部の「スマートアルバム」内の「最近読み込んだファイル」をクリックすると、最近読み込んだファイルだけが自動的に表示されます。また、スマートアルバムでは、タイトルなどの条件を指定して、映像ファイルを自動的にまとめて表示できます。スマートアルバムの詳細な使用方法については、電子取扱説明書の「使い方」→「アルバムを作成する」→「スマートアルバムの作成」を参照してください。

パソコンに保存した映像から DVD-RW / DVD-R を作成する

本機で記録した映像をパソコンに保存すると、その映像を使って DVD レコーダー / プレーヤーでお楽しみいただける DVD-Video を作成できます。ここでは、ImageMixer 3 Mac Edition でパソコンに保存した映像から DVD-RW/DVD-R (DVD-Video) を作成する手順について説明します。HDD、DVD に記録した映像をパソコンに保存する手順は、「HDD / DVD に記録した映像をパソコンに取り込む」(P.137)をご覧ください。

1 ImageMixer 3 Mac Edition を起動する

「ライブラリ」を表示する

画面左部に表示されている「ライブラリ」をクリックしてください。パソコンに保存した映像が一覧表示されます。

クリック



2

取り込みたい映像を選択 クリック

映像ファイルの中から、DVD-Video にしたい映像を選び、画面下部の「DVD 作成リスト」をクリックしてください。

DVD メニューを選択する

DVD メニューデザイン / 作成する DVD のサイズ (8cm/12cm) / 画質の選択画面が表示されますので、それぞれの設定を選択して「OK」をクリックしてください。

3



作成した DVD 作成リストが追加されます。DVD 作成リストは、「名称未設定」で登録されていますが、「名称未設定」をダブルクリックすると DVD 作成リストの名前を変えられます。DVD 作成リストの名前は DVD の名称になります。



- アルバムやスマートアルバムでも、DVD-Video にしたい映像を選び、画面下部の「DVD 作成リスト」をクリックして、簡単に DVD 作成リストを作ることができます。
- DVD 作成リストをつくった後でも、ライブラリから映像ファイルを画面左部の DVD 作成リストヘッダラッグ&ドロップして、映像ファイルを追加できます。
- DVD 作成リスト表示時に、画面下部のユーティリティーメニューボタンをクリックし、「DVD 作成リストを編集」を選択すると、DVD メニューデザイン / DVD のサイズ / 画質を再設定できます。

DVD に書き込む

DVD 作成リストでは、リスト内の映像の確認ができます。確認したい映像をクリックして、画面下部の再生アイコンをクリックしてください。

内容の確認が終了したら、画面下部の「書き込み」をクリックしてください。



4

書き込みドライブの設定画面が表示されますので、DVD に書き込むドライブを選択し、その後「作成」をクリックすると DVD への書き込みが始まります。



同じ内容の DVD を複数枚作成したい場合には、DVD 作成後に表示される「同じディスクをもう 1 枚作成しますか」というメッセージで「はい」を選択してください。



- 書き込みドライブに、書き込み済みの DVD-RW をセットすると「ディスクの内容を消去しますか？」というメッセージが表示されます。DVD の内容を消去すると、DVD 上のデータはすべて消去されますので、DVD の内容を十分確認してください。
- DVD-Video 規格に準拠しない映像ファイルが含まれる場合には、映像が再エンコードされるため、画質が劣化します。

■ ソフトウェアのアンインストール

● Windows をお使いの場合

「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」または「プログラムの追加と削除」を開き、表示されたアプリケーション一覧から削除したい項目を選択して「変更 / 削除」ボタンをクリックしてください。

ご注意

- ソフトウェアをアンインストールしたときは、パソコンを再起動させてください。
- アンインストールには管理者権限が必要です。

● Macintosh をお使いの場合

インストールされたフォルダ / ファイルを、手動でゴミ箱に移動させてください。

ゴミ箱に移動させるフォルダ / ファイルは以下の通りになります。

/ アプリケーション / ImageMixer 3

for DVDCAM

/ 使用ユーザ / Movies / ImageMixer 3 for DVDCAM

/ 使用ユーザ / ライブラリ / Application Support / ImageMixer 3 for DVDCAM

/ 使用ユーザ / ライブラリ / Preferences /

com.PIXELA.ImageMixer3.DVDCAM.plist

/ ライブラリ / Receipts / ImageMixer 3 for DVDCAM.pkg

ご注意

- 「使用ユーザ」はログインしているユーザ名によって変わります。
- アンインストールには管理者権限が必要です。

パソコンと接続するときの注意事項

- パソコンと本機を接続する場合、電源は AC アダプター／チャージャーをご利用ください。
 - ・ バッテリーでもご使用できますが、転送中に本機の電源が切れると、お客様の貴重な録画内容が失われたり、DVD 書き込み中の場合は、その DVD が使用できなくなります。
- パソコンから本機の DVD にアクセス中はケーブル類の抜き差しはしないでください。
 - ・ アクセス／PC 接続ランプや、カードアクセスランプが点滅しているときに USB ケーブル（同梱）や電源コードを抜き差しすると、お客様の貴重な録画内容が失われる原因となり、DVD に書き込み中の場合は、その DVD が使用できなくなります。
- パソコンと本機を接続するときは、USB ケーブルと AC アダプター／チャージャー以外のケーブルは外してください。
- パソコンと本機を接続しての動作は、約 30℃以下の環境で約 30 分を目安にし、本機が高温にならないように、ご注意ください。
 - ・ 本機が高温になると、本機側での読み取りや書き込みに支障が出る場合があります。特に DVD-R への書き込み中にエラーが発生しますと、その DVD は使用できなくなります。本機が高温にならないよう、ご注意ください。
 - HDD に記録した長時間のシーンをパソコンに取り込む場合は、時間がかかるため、本機が高温にならないようご注意ください。
- 本機で編集したフェードやプレイリストなどの内容は、同梱のソフトウェアでは反映されません。
- USB ハブを経由した接続や、パソコンのフロントパネルやキーボードにある USB 端子に本機を接続した場合、パソコンから本機が認識されないなどの現象が発生することがあります。このようなときは、パソコンのリアパネルの USB 端子に接続してご使用ください。
- 本機の電源が「切」のときは、パソコンへは接続できません。
- 本機で撮影した、DVD-RW / DVD-R は、パソコンのアプリケーションでファイナライズしないでください。DVD が使えなくなります。

- 本機に付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して本機にデータを読み書きできることがありますが、動作保証はいたしません。
- 本機をパソコンに接続したままパソコンをサスペンド（またはスリープやスタンバイ）から起動した場合は、本機を認識できないことがあります。この場合は一度パソコンとの接続を外し、パソコンを再起動させてください。
- パソコンに2台以上のDVDカメラを同時に接続することはできません。
- 本機に同梱のソフトウェアで作成したDVDは、DVDレコーダー／プレーヤー等、それぞれのDVDに対応した機器での再生に対応しておりますが、すべての機器での再生を保証するものではありません。再生機器やDVDの記録状態により再生できない場合があります。

お問い合わせ先

- ImageMixer 3、ImageMixer 3 Mac Edition に関するお問い合わせ先

ピクセラユーザーサポートセンター

TEL 06-6633-3900

FAX 06-6633-2992

受付時間 10:00～13:00 14:00～17:00

（土、日、祝日およびピクセラ社の休日を除く）

サポートWEB URL

<http://www.pixela.co.jp/oem/hitachi/j/index.html>

- パソコンと本機との接続等に関するお問い合わせ先

日立マルチメディアインフォメーションセンター

TEL 0120-147-226

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:30

（土、日、祝日および弊社の休日は休ませていただきます）